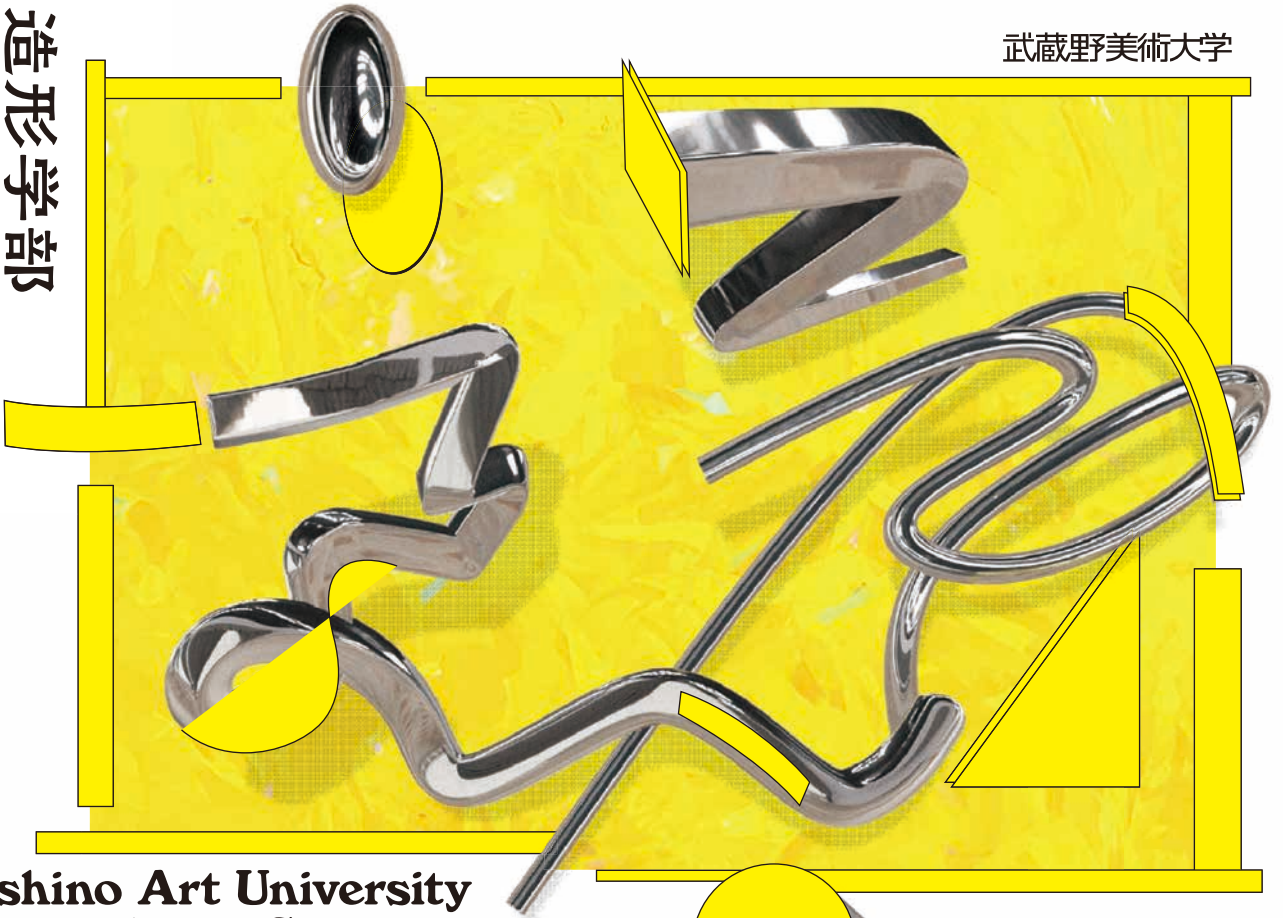
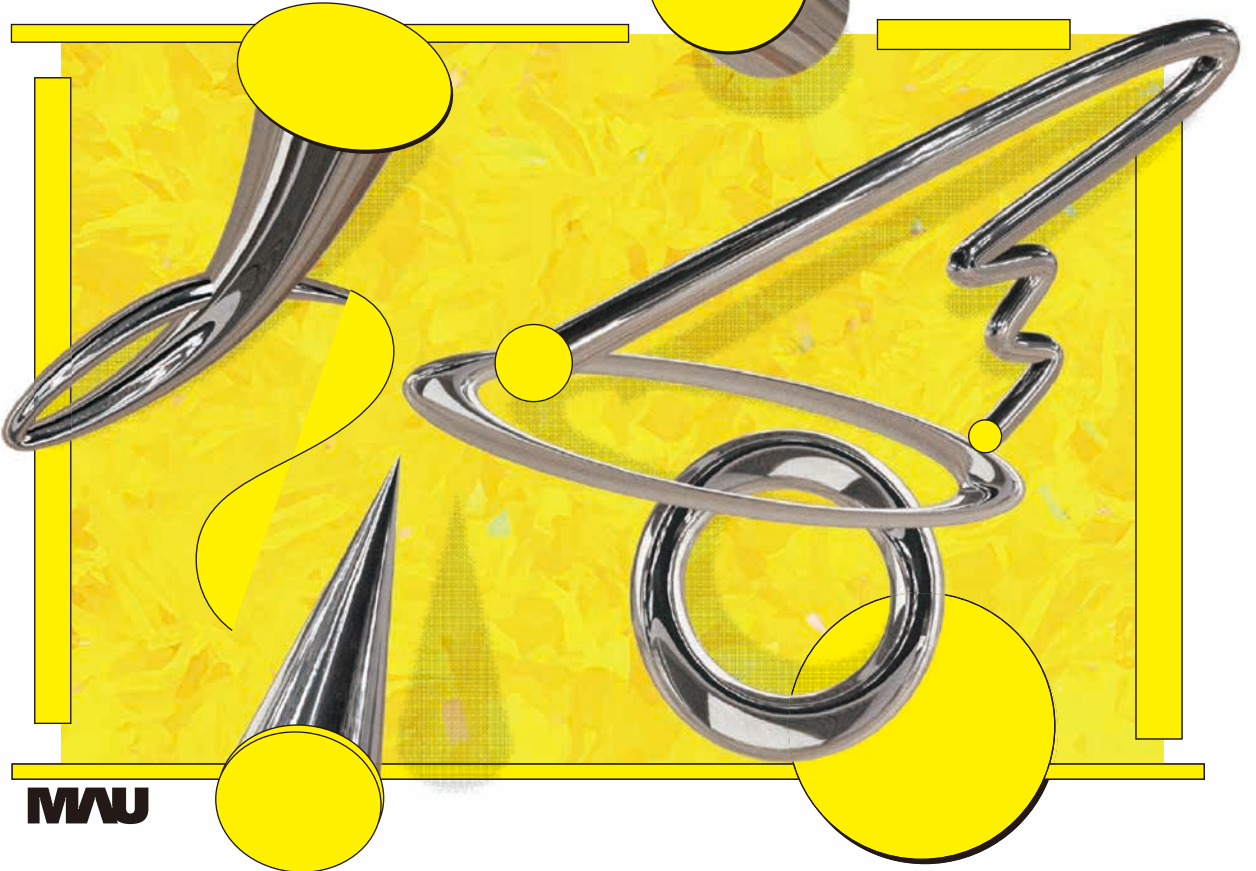


造形学部
通信教育課程
入学案内2025



Musashino Art University
Correspondence Course





武蔵野美術大学 造形学部通信教育課程

Musashino Art University
Correspondence Course

つくる力が私を変える

——— ムサビ
武蔵美の通信教育

創作活動をもっと充実させたい。

芸術文化に触れ、学ぶことで生活を豊かにしたい。

プロとしてのキャリアアップを目指したい——。

武蔵野美術大学の通信教育課程は、

あらゆる人に開かれた造形芸術の総合的な大学です。

ムサビの伝統と独自のカリキュラムによって培われる“つくる力”。

一日一日を、そして人生を変える大きな力です。



Contents

ムサビ通信の特徴	2
ムサビ通信への入学案内	7
教育課程	8
入学制度	10
授業科目	12
授業形態	14
年間スケジュール	16
ムサビ通信で学ぶQ&A	18
在校生の声 VOICE 1	20
学科・コース紹介	21
コース紹介	22
〔油絵学科〕 絵画表現コース	25
〔油絵学科〕 日本画表現コース	29
〔デザイン情報学科〕 デザイン総合コース	35
〔芸術文化学科〕 芸術研究コース	41
在校生の声 VOICE 2	48
卒業制作 作品集	49
科目紹介・学習の流れ	57
文化総合科目	58
造形総合科目	60
学習の流れ① 通信授業の科目例 「日本美術史」	62
学習の流れ② 面接授業の科目例 「絵画表現基礎ⅠB」	64
学習の流れ③ 面接授業の科目例 「デザイン基礎ⅠB」	66
学習の流れ④ メディア授業の科目例 「カメラリテラシー」	68
在校生の声 VOICE 3	70
教職課程	72
学芸員課程	73
教員インタビュー	75
卒業生インタビュー	79
学生生活・インフォメーション	85
学生生活／学生支援体制	86
教育環境	88
教員紹介	90
交通案内	92

1

専門性を身につける 4つのコース

ムサビ通信では、4つのコースから専攻を選択します。4年間の教育課程を通して、しっかりとした造形力の基礎から確かな専門性を養い、多様な社会で表現に携わっていく横断的な知識を身につけます。

Department of Painting

絵画表現 コース

Painting
Course

Department of Painting

日本画表現 コース

Japanese Painting
Course



Department of Design
Informatics
**デザイン総合
コース**
Synthetic Design Course



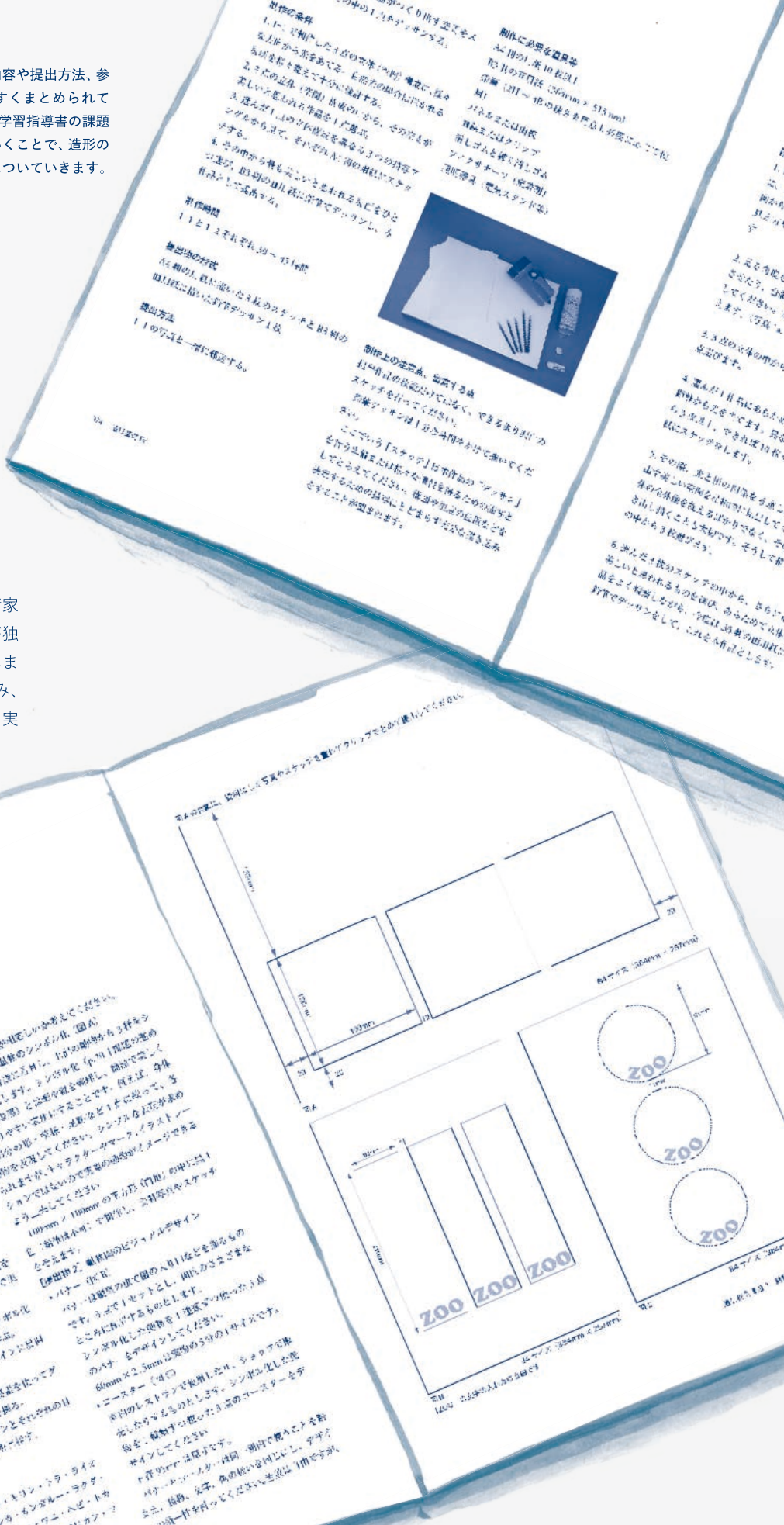
Department of Arts Policy
and Management
**芸術研究
コース**
Art Study Course

2

実践に基づいた 独自の通信教材

通信授業は、本学教員を中心に第一線の美術家や研究者が執筆した教科書と、ムサビ通信が独自に制作した学習指導書によって進められます。自分のペースで課題の一つずつ取り組み、きめ細かな添削指導を受けることで、着実に実力を身につけることができます。

学習指導書には課題の内容や提出方法、参考資料などが分かりやすくまとめられています。通信授業では、学習指導書の課題の一つずつ取り組んでいくことで、造形の知識や技術が着実に身につけていきます。

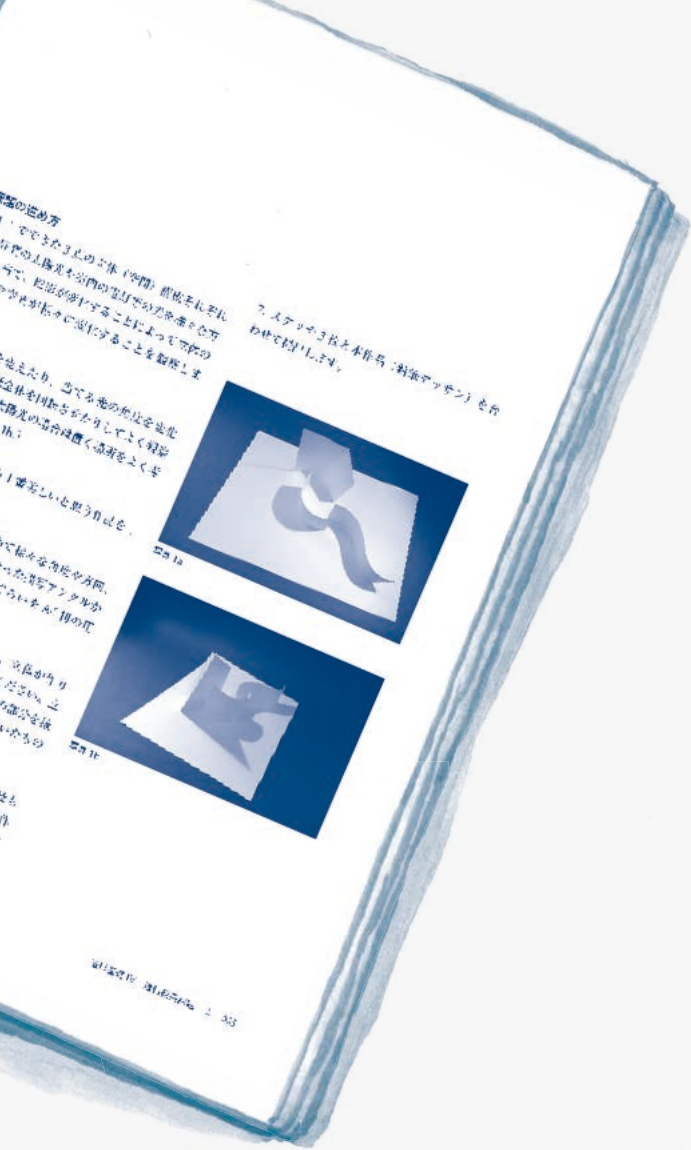
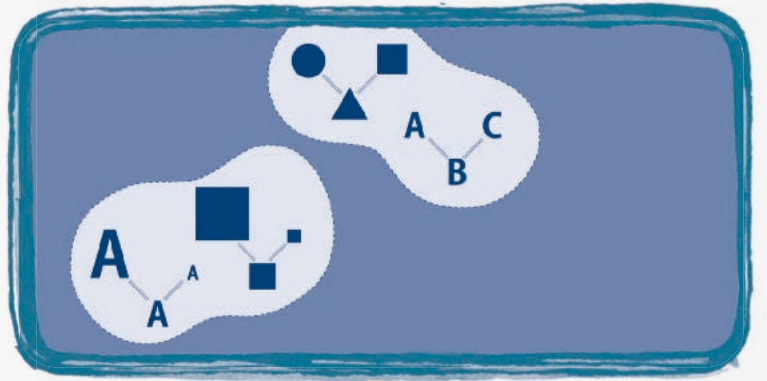


オンラインを活用した 学習の強化

ムサビ通信の特徴

ムサビ通信ではオンラインの活用を強化しています。面接授業（スクーリング）と同じように、密接な双方向のコミュニケーションをWeb上で実現するメディア授業。パソコンでアクセスし、スクーリングの予習復習に役立つオンラインプラスなど、遠隔でもより豊かに学べる環境を整えています。

3





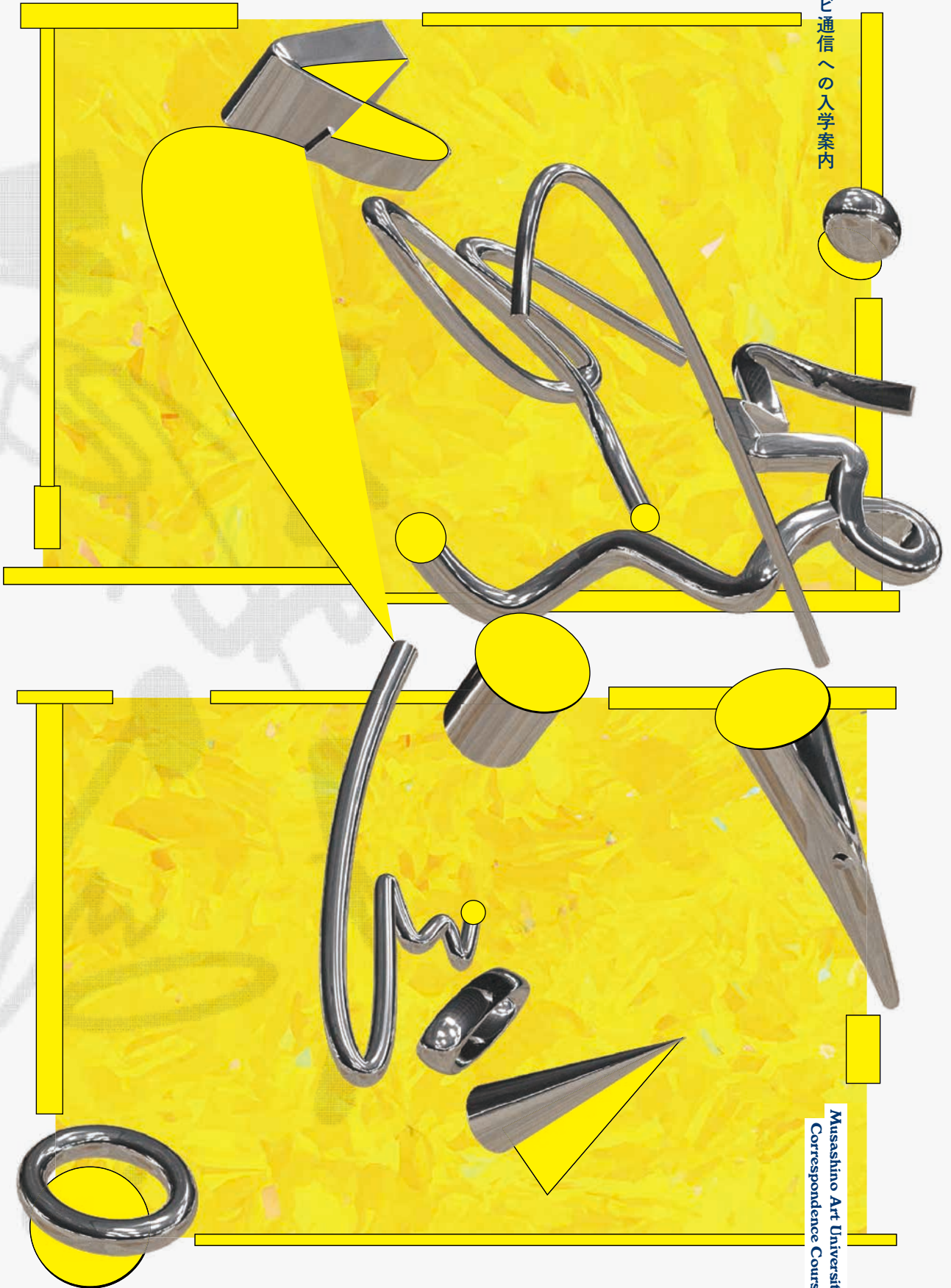
ムサビ通信の特徴

4

美術大学ならではの 充実した設備

ムサビ通信では、自宅での学習のほかにキャンパスでの面接授業（スクーリング）を行います。鷹の台キャンパス、三鷹ルーム、市ヶ谷キャンパスを使用します。鷹の台キャンパスには、専門的な設備を備えた工房のほか、美術館・図書館も併設されており、充実した学習を行うことができます。



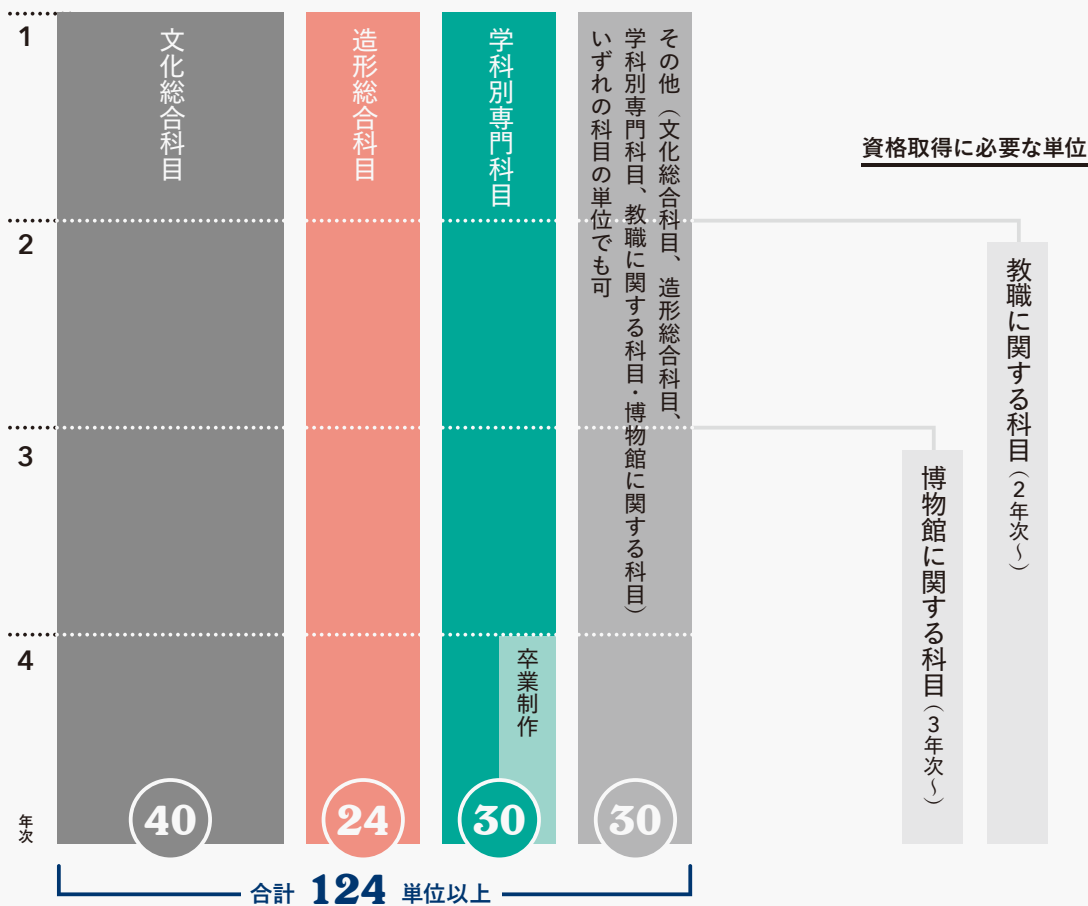


1 教 育 課 程

造形力の基礎を育て、
専門性を身につける。
入学から卒業までのカリキュラム。

ムサビ通信のカリキュラムは、「文化総合科目」「造形総合科目」「学科別専門科目」からなり、それぞれ必要な単位を修得することで卒業、学士（造形）の学位を取得することができます。単位とは、履修した科目を十分に学習したと認められる場合に与えられるもので、年次ごとに計画的に履修することが重要です。1～2年次には積極的に基礎固めができる科目を学び、3～4年次に専門性を身につける科目を履修することで、効率的に学習を深めていくことができます。

卒業に必要な単位



卒業には、124単位以上（面接授業またはメディア授業の30単位を含む）の修得が必要です。内訳は文化総合科目40単位、造形総合科目24単位、学科別専門科目30単位、その他、左記の3つの科目群および教職・博物館に関する科目から30単位以上です。なお、卒業に必要な単位には、学科・コースごとの必修科目（卒業制作含む）、選択必修科目が含まれていなければなりません。

文化総合科目で、 幅広い学問分野と 造形の理論を学ぶ。

さまざまな学問分野と造形をつなぐ授業科目群です。ムサビ通信で学ぶ美術やデザイン、芸術研究といった専門分野は、社会や他の学問との関わりのなかで成り立っていくものです。文化総合科目では、美術史や造形理論

に関わる科目から、人文科学、社会科学、自然科学など諸学問分野の基礎的、応用的な授業科目、さらに外国語、健康やスポーツ等に関する科目も開設され、多彩な科目から各自の関心に合わせて選択し、受講することができます。

造形総合科目で、 造形の基礎や総合力を 身につける。

あらゆる造形分野に共通する、基本的・総合的な能力を習得するための授業が網羅されている科目群です。デッサンや絵画、工芸、デザインなどの造形力を身につける科目のほか、コンピュータを用いた造形やマルチメ

ディア関連など、今日的な情報環境に関する科目も多数開講されます。選択科目なので自由に選択し、受講することができます。

学科別専門科目で、 自身の表現や 関心を深め、 専門性を高める。

専門分野をより深く、横断的に学ぶため、4つのコースそれぞれに開設される授業科目群です。どのコースでも年次ごとに「必修科目」や「選択必修科目」が設定されており、年次が上がるほど専門性も高まっています。卒業を前に全員が取り組

む「卒業制作」もこれに含まれます。編入学の場合、すぐに専門性の高い科目に取り組むことができますが、造形的な知識に不安がある場合は造形総合科目で基礎を固めてから専門科目に取り組むこともできます。

資格取得に関わる科目

教職に関する科目

油絵学科、芸術文化学科で教員を目指す学生が、「美術」「工芸」の教員免許状を取得するための科目です。2年次以降に教職課程への登録手続きを行い、履修します。詳しくは72ページをご覧ください。

博物館に関する科目

博物館・美術館の学芸員資格を取得するための科目です。3年次以降に学芸員課程への登録手続きを行い、履修します。詳しくは73ページをご覧ください。

2 入学制度

1年次入学、
2年次・3年次編入学、
科目等履修生—。
あなたに合った入学と学び方。

ムサビ通信には入学のための選抜試験はありません。必要書類を提出し、選考に合格すれば入学することができます。また、高等学校卒業者を対象にした1年次入学はもとより、大学・短大等を卒業した方は、2年次や3年次への編入学も可能です。その場合、大幅な既修得単位の認定が受けられます。このほかにも、科目等履修生など、さまざまな入学の仕方、学び方があり、大学入学資格のない方であっても、特修生として必要な科目を履修したのち、ムサビ通信への入学が認められる道が開かれています。

1年次入学

高卒以上の全ての方に門戸を開放

高等学校卒業以上の学歴をもつ全ての方が対象で、造形を学ぶ意欲のある方であれば、出願書類による入学選考により入学することができます。基礎的な造形力や理論から専門分野の能力まで、じっくり時間をかけて身につけます。

編入学

大学・短大・専修学校の卒業者などを対象

大学・短大の卒業者のほか、専修学校を卒業した方や外国で教育を受けた方など、所定の条件を満たしていれば、2年次または3年次からの編入学が認められます。修得した単位として認定されるのは、2年次編入の場合は46単位、3年次編入の場合は62単位が上限となります。単位が認定される分、学科別の専門科目に集中して取り組みやすくなる利点があります。

科目等履修生〔一般〕

特定の科目だけを履修したいという方を対象にした制度です。18歳以上の社会人、他大学の学生などが無理のない範囲で造形教育を受けることができます。入学前に本学を体験する「Pre-Study Program (PSP)」という位置づけもあります。

科目等履修生〔教職生〕

現職の教員を対象としたもので、所定の単位を修得することにより、他の教科の免許状をもつ現職教員が「美術」「工芸」の免許状を取得することができます。

科目等履修生〔特修生〕

大学入学資格のない方を対象にした制度で、必要な単位を修得することによってムサビ通信への入学が認められます。

通学課程への転籍

本学編入学選抜試験に合格することにより、本学の通学課程への転籍が可能となります。



3 授 業 科 目

通…通信授業 / 面…面接授業 / メ…メディア授業

★は科目試験を実施する授業科目

充実した授業科目から、
高い専門性と幅広い教養を
総合的に身につける。

授業科目は、広範な理論を学ぶ「文化総合科目」、造形各分野の基本を網羅した「造形総合科目」、学科・コースごとに専門性を深める「学科別専門科目」で構成され、さまざまな科目が用意されています。ムサビ通信では高度な専門性だけでなく、幅広い教養を身につけ、総合的に学習できる環境を重視しています。コースごとに定められた必修科目や選択必修科目以外は、それぞれの興味関心や必要とする知識に応じて授業科目を選び、自分だけの学習計画を立てていきましょう。

文化総合科目

単位数			授業科目名	単位数			授業科目名	単位数			授業科目名
通	面	メ		通	面	メ		通	面	メ	
		1	レポート入門Ⅰ	2			英語Ⅰ★	2			工芸論★
	1		レポート入門Ⅱ	2			英語Ⅱ★	4			映像文化論★
	1		コンピュータリテラシーⅠ	2			フランス語初級★	4			デザインマネジメント
	2		コンピュータリテラシーⅡ	2			フランス語中級★	4			アートマネジメント
		1	カメラリテラシー	2			フランス語上級★		1		情報社会倫理論
		1	美術入門	1			健康と身体運動文化Ⅰ		1		情報職業論
		1	デザイン入門	1			健康と身体運動文化Ⅱ	4			演劇空間論★
2			文学★	1			健康と身体運動文化Ⅲ	4			工業技術概論
2			歴史学★	1			健康と身体運動文化Ⅳ	2			絵画空間論★
2			哲学★	1			健康と体力研究	2			美術解剖学★
2			社会学★	1			身体運動文化研究	2			日本画材料学★
2			経済学★	2			美術の歴史と鑑賞★	1 1			ワークショップ研究Ⅰ
2			憲法★	2			日本美術史★	1 1			ワークショップ研究Ⅱ
2			民俗学	2			東洋美術史★		1		絵画表現材料
2			心理学★	2			西洋美術史Ⅰ★		1		絵画表現材料研究
4			色彩学	2			西洋美術史Ⅱ★		1		日本画表現入門
2			著作権法★	4			建築史★	1			デザイン論Ⅰ
4			音楽論★	2			デザイン史★		1		デザイン論Ⅱ
2			数学★	2			演劇史★		1		デザイン論Ⅲ
2			生物学★	2			民芸論★	2			編集論
2			物理学★	2			美術論★				
2			自然科学概論★	2			現代芸術論★				

造形総合科目

単位数			授業科目名	単位数			授業科目名	単位数			授業科目名
通	面	メ		通	面	メ		通	面	メ	
2			デッサン A	2			絵画研究Ⅲ	2			彫刻Ⅴ
	2		デッサン B	2			版表現Ⅰ	1 1			工芸Ⅰ
2			デッサン表現	2			版表現Ⅱ	1 1			工芸Ⅱ
2			絵画研究ⅠA	2			彫刻Ⅰ	2			ガラス基礎実習Ⅰ
	2		絵画研究ⅠB	2			彫刻Ⅱ	2			テキスタイル基礎実習Ⅰ
2			絵画研究ⅡA	2			彫刻Ⅲ	2			金工基礎実習Ⅰ
	2		絵画研究ⅡB	2			彫刻Ⅳ	2			陶磁基礎実習Ⅰ

造形総合科目

単位数		授業科目名	単位数		授業科目名	単位数		授業科目名
通	面		通	面		通	面	
	2	木工基礎実習Ⅰ	1	1	図法製図Ⅱ	2		デザイン基礎ⅠA
	2	デザインⅠ	2	1	マルチメディア基礎	2	2	デザイン基礎ⅠB
	2	デザインⅡ		1	コンピュータ科学入門	2		デザイン基礎ⅡA
	2	ブックバインディング	2		コンピュータ基礎Ⅱ		2	デザイン基礎ⅡB
	2	映像メディア表現Ⅰ		1	デジタルファブリケーション実習	2		デザイン基礎ⅢA
	1	映像メディア表現Ⅱ	2		造形基礎Ⅰ		2	デザイン基礎ⅢB
	2	レタリング	1		造形基礎ⅡA	2		デザイン基礎ⅣA
	2	タイポグラフィ	1		造形基礎ⅡB		2	デザイン基礎ⅣB
	2	イラストレーション	1		造形基礎ⅢA		1	写真表現
	1	絵本	1		造形基礎ⅢB			
	2	パッケージデザイン	2		造形基礎Ⅳ			
	1	ファッションデザイン	1		デジタル造形基礎Ⅰ			
	2	図法製図Ⅰ	1		デジタル造形基礎Ⅱ			

学科別専門科目

単位数		授業科目名	単位数		授業科目名	単位数		授業科目名	
通	面		通	面		通	面		
		< 絵画表現コース >							
	2	絵画表現基礎ⅠA		2	日本画応用ⅡB	1		環境形成デザインⅣA	
	2	絵画表現基礎ⅠB	1	1	日本画表現演習		2	環境形成デザインⅣB	
	1	絵画表現ⅢⅠA		1	日本画応用ⅢA		2	環境形成デザインⅤB	
	2	絵画表現ⅢⅠB		2	日本画応用ⅢB		2	社会形成デザインⅠA	
	1	絵画表現ⅣA		4	卒業制作		2	社会形成デザインⅠB	
	2	絵画表現ⅣB		2	日本画研究Ⅰ		1	社会形成デザインⅡA	
	1	絵画表現ⅤA		2	日本画研究Ⅱ		2	社会形成デザインⅡB	
	2	絵画表現ⅤB		2	日本画研究Ⅲ		1	社会形成デザインⅢA	
	1	絵画表現ⅥA			< デザイン総合コース >		2	社会形成デザインⅢB	
	2	絵画表現ⅥB		1	デザイン総合研究Ⅰ			< 芸術研究コース >	
	1	絵画表現演習		1	デザイン総合研究Ⅱ		2	芸術研究Ⅰ	
	1	絵画表現ⅦA		2	デザイン総合研究Ⅲ		2	芸術研究リサーチ	
	2	絵画表現ⅦB		2	デザイン総合研究Ⅳ		1	芸術研究特殊講義Ⅰ	
	4	卒業制作		2	デザイン総合研究Ⅴ		2	芸術研究Ⅱ	
	2	絵画表現基礎Ⅱ		2	デザイン総合研究Ⅵ		2	芸術研究コンセプトⅡ	
	2	絵画表現基礎Ⅲ		2	卒業制作		1	芸術研究特殊講義Ⅱ	
	2	絵画表現基礎Ⅳ		2	自律の情報技術学習演習		2	芸術研究Ⅲ	
	1	複合的表現ⅠA		2	イメージ表現研究		2	芸術研究ライティング	
	2	複合的表現ⅠB		2	情報形成デザインⅠA		1	芸術研究特殊講義Ⅲ	
	1	複合的表現ⅡA		2	情報形成デザインⅠB		2	卒業研究Ⅰ	
	2	複合的表現ⅡB		2	情報形成デザインⅡA		2	芸術研究Ⅳ	
		< 日本画表現コース >			情報形成デザインⅡB		1	芸術研究特殊講義Ⅳ	
	2	日本画基礎Ⅰ		1	情報形成デザインⅢA		2	卒業研究Ⅱ	
	2	日本画基礎Ⅱ		2	情報形成デザインⅢB		2	卒業研究Ⅲ	
	1	日本画基礎ⅢⅠA		1	情報形成デザインⅣA		1	1	ミュージオロジーⅠ
	2	日本画基礎ⅢⅠB		2	情報形成デザインⅣB		2	メディア論	
	1	日本画基礎ⅣA		2	情報形成デザインⅤB		1	1	生涯学習概論
	2	日本画基礎ⅣB		2	環境形成デザインⅠA		4	ミュージオロジーⅡ	
	2	日本画基礎Ⅴ		2	環境形成デザインⅠB		2	博物館資料保存論	
	1	日本画応用ⅠA		2	環境形成デザインⅡA		2	博物館展示論	
	2	日本画応用ⅠB		2	環境形成デザインⅡB		2	博物館教育論	
	1	日本画応用ⅡA		1	環境形成デザインⅢA		1	2	博物館実習(学芸員課程履修者のみ)
				2	環境形成デザインⅢB				

4 授 業 形 態

通信授業、面接授業(スクーリング)、
オンラインでのメディア授業。
多様な学び方を組み合わせて
効果的に学習する。

ムサビ通信の授業形態には、「通信授業」「面接授業(スクーリング)」「メディア授業[オンデマンド・リアルタイム]」があります。レポートや実技課題作品を郵便やWebでやり取りする通信授業。実技科目を中心に、教員から直接指導を受ける面接授業(スクーリング)。また、オンライン上で講義動画を視聴し、質問やディスカッションを通して理解を深めながら進めるメディア授業のうちいずれか、もしくは複数の授業形態を組み合わせて学んでいます。

通 信 授 業

充実した教材ときめ細かな添削指導
本学教員を中心に第一線の美術家や研究者が執筆した教科書を主に使用します。各授業科目には、課題や学習方法を詳しく解説した学習指導書が用意されています。これを指針に各自のペースで学習を進め、課題のレポートや実技課題作品を提出、担当教員によるきめ細かな添削指導を受けます。

Webの活用

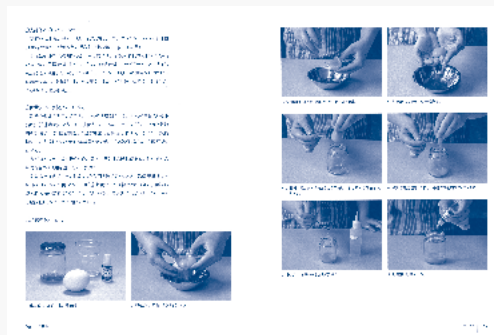
レポート課題の提出・添削は郵便とWebによって行われます。インターネット初心者も「コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ」を受講することで、Web環境の幅広い活用方法を身につけることができます。

全国 10会場での科目試験

単位修得のための科目試験(筆記試験)は、札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島、沖縄の10会場で年6回、日曜・祝日に実施されます。

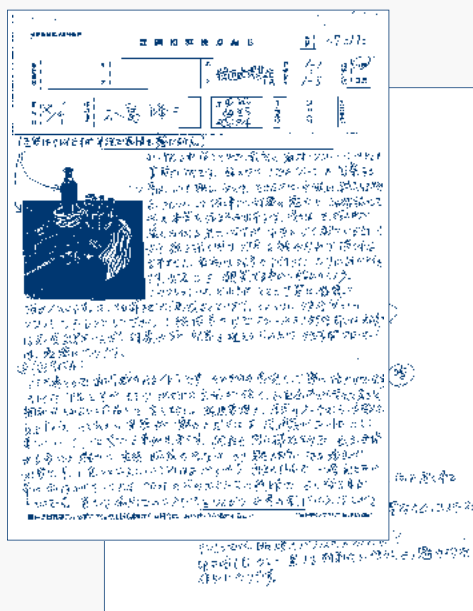
通信授業課題の添削

提出された通信授業課題は、担当教員が一人一人に対して添削を行います。添削では習熟度に応じたきめ細かな指導が行われます。



充実した教科書と独自の学習指導書

通信授業では、科目ごとに教科書と学習指導書が用意されています。教科書を参照し、課題や学習方法がまとめられた学習指導書に沿って学習を進めていきます。



面接授業（スクーリング）

対面による直接指導

実技科目を中心に、鷹の台キャンパス、三鷹ルーム、市ヶ谷キャンパスいずれかの会場で教員から直接指導を受けます。7月下旬から8月に行われる夏期スクーリングのほか、春期週末スクーリング（4～7月）、秋期週末スクーリング（9～10月）、冬期週末スクーリング（10～1月）の4つのブロックに分かれています。

学習効果を高める補助プログラム

「オンラインプラス」

一部の面接授業科目には、授業の予習や復習を目的とした補助プログラム「オンラインプラス」が設置されています。PCやスマートフォン、タブレットで自由な時間にアクセスし、学習効果を高めることができます。

「造形ファイル」で 技法の習得をサポート

造形表現における素材や道具、技法などの理解と習得をサポートするため、豊富な動画や静止画などを大学のWebページ上に掲載しています。

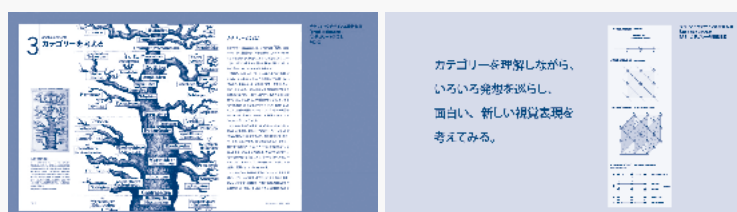
メディア授業 [オンデマンド・リアルタイム]

Webを利用した双方向授業

通学することなく、面接授業と同じように、双方向のコミュニケーションをWeb上で実現し、高い教育効果を得られるのが、ムサビ通信のメディア授業です。時間的・地域的制約を超えて学ぶことにより、よりスムーズな学習が期待できます。

多くの学生が参加する 夏期スクーリング

夏期スクーリングでは、最も多くの面接授業科目が開講されます。多くの学生と成果を共有しながら、より豊かな体験を通して学んでいきます。

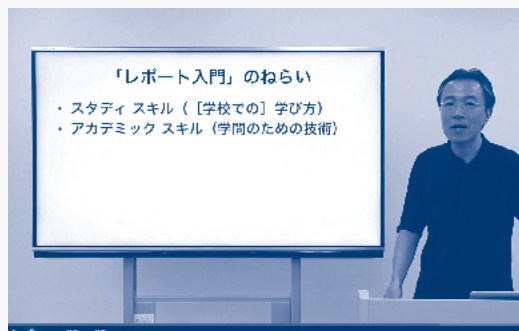


オンラインプラス



造形ファイル

<https://zokeifile.musabi.ac.jp>



メディア授業 [オンデマンド] 科目の様子
メディア授業 [オンデマンド] 科目「レポート入門I」の講義動画。対面授業のような臨場感の下で授業を受けることができます。

修了テストまで Web上で完結

メディア授業は、オンライン上で完結する授業科目です。講義への参加はもちろん、レポート提出や、修了テストも Web上で受験します。

5 年間スケジュール

それぞれの学習ペースで
一年間のスケジュールを
組み立てる。

卒業には124単位が必要とされ、1年間に学習できる単位の上限は40単位（資格関連の科目を除く）。年度始めに履修登録し、単位の修得を目指します。1年間に履修する科目や学習スケジュールは大学が決めるのではなく、学生各自の都合や学習進度に合わせて、自由に選択・設定します。基準となるのは年間6回機会がある科目試験の受験日や、スクーリングの日程、メディア授業修了テスト。これらをもとに、年度始めに各自で年間の学習スケジュールを組み立てます。

年間学習スケジュールの例 [絵画表現コース / 1年次生の場合]

● … スクーリング

科目名/単位数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
文化総合科目	美術入門 【メディア授業 1単位】		動画視聴・ 学習チェック	修了 テスト								
	デザイン入門 【メディア授業 1単位】		動画視聴・ 学習チェック	修了 テスト								
	レポート入門Ⅰ 【メディア授業 1単位】		動画視聴・学習チェック		修了 テスト							
	コンピュータリテラシーⅡ 【通信授業 2単位】							通信課題 1			通信課題 1	
	美術解剖学 【通信授業 2単位】		通信課題 1		通信課題 2	科目試験						
	西洋美術史Ⅰ 【通信授業 2単位】				通信課題 1		通信課題 2	科目試験				
	カメラリテラシー 【メディア授業 1単位】							動画視聴・学習チェック			修了 テスト	
	英語Ⅰ 【通信授業 2単位】						通信課題 1		通信課題 2	科目試験		
造形総合科目	造形基礎Ⅰ 【通信授業 2単位】	通信課題										次年度履修科目の登録期間 課題提出期限
	造形基礎ⅡA 【通信授業 1単位】		通信課題									
	造形基礎ⅡB 【面接授業 1単位】			●								
	デッサンA 【通信授業 2単位】							通信課題				
	デッサンB 【面接授業 2単位】									●		
	木工基礎実習Ⅰ 【面接授業 2単位】					●						
学科別専門科目	絵画表現基礎ⅠA 【通信授業 2単位】				通信課題							年間 32 単位
	絵画表現基礎ⅠB 【面接授業 2単位】		●									
	絵画表現基礎Ⅱ 【通信授業 2単位】						通信課題					
	絵画表現基礎Ⅲ 【面接授業 2単位】				●							
	絵画表現基礎Ⅳ 【面接授業 2単位】						●					

1年次の年間学習スケジュールの例を紹介します。1年次は造形力の基礎固めをする科目を中心に、関心がある領域へと学習の幅を広げていきます。

不合格その他の理由で年度中での単位修得が難しくなった場合は、翌年度に継続履修登録すると、前年度に引き続いた学習をすることができます。



ムサビ通信で学ぶ

Q & A

新しい挑戦に不安はつきもの。まずはその一步を踏み出してもらうために、ムサビ通信で学ぶ上での素朴な疑問をまとめました。

Q1 入学試験はありますか？

A1

ムサビ通信に入学試験はありません。書類による選考のみで、審査に合格すればどなたでも入学することができます。

Q2

美術・デザイン系以外の他大学を卒業しているのですが、3年次編入学しても、周りの学生についていけるのか不安です。

A2

3年次編入学した場合でも、基礎的な造形力や理論から専攻分野の能力まで、順序よく身につけていくことができます。

Q3

通信教育は4年間での卒業が難しいと聞きましたが……。

A3

計画的に履修すれば4年間で卒業できるようにカリキュラムを構成してあります。ただし、お仕事等スクーリングの受講がスムーズにできないなどの場合、卒業まで5年以上かかる場合もあります。1年次入学の場合、最長10年間在籍できますし、入学翌年度からは休学制度（計3年間）もありますので、学習環境にあわせて学べます。

Q4

卒業までにスクーリングは
どれくらい必要でしょうか？

A4

1年間で、20日間程度は必要とお考えください。4年間での卒業を希望される場合は80日間程度です。ただし、入学希望の学科・コースや科目の選択によって異なります。芸術文化学科の学科別専門科目(必修)にスクーリング科目はありません。

授業でパソコンは使いますか？

Q5

パソコンを使わない科目もありますが、メディア授業の受講やレポートの提出、また履修登録や学習状況の確認などは Web上で行います。現在お持ちでない方は、ご購入をおすすめします。なお、デザイン情報学科の学生が必修科目のスクーリングを受講する際には、ノート型パソコンが必携です。

A5

Q6

より詳しく入学相談をすることはできますか？

A6

入学相談会の詳細はムサビ通信 Web サイトでご確認ください。その他、電話やメールでの入学相談にも応じています。

在学生の声
VOICE
1

ムサビ通信で学びたい！ 一人一人の入学への思いを 聞いてみました

美術やデザインを本気で学びたい。その思いは同じでも、きっかけや目的は人それぞれ。在学生の皆さんに入学の動機を聞いてみました。

興味をどんどん 広げたい

読んでいた絵本の作者がムサビ通信の卒業生で、その影響で興味を持ち、私も学んでみたいと思いました。
(絵画表現コース 22歳 神奈川県)

絵を描く自信を、ムサビ通信で学ぶことで得たいと思いました。カリキュラムの内容が豊富で、興味深いと思ったのも入学の理由です。
(絵画表現コース 53歳 神奈川県)

自分の表現を 磨きたい

大きな絵を描いてみたい、というのが動機です。体力があるうちに始めたいと思って入学しました。
(日本画表現コース 50歳 東京都)

美大受験に落ちてしまいました。浪人して1年間デッサンを重ねるよりも、自身の表現を模索していきたいと思って入学しました。
(絵画表現コース 20歳 北海道)

日本画の制作について基礎から学びたいと思いました。科目試験が近くの会場で受けられるのも入学を後押ししてくれました。
(日本画表現コース 59歳 神奈川県)

仕事につながる 学びを求めて

将来、美術に関わる仕事をしたいと考えています。働きながら勉強することができて、学費に無理がないのも決め手になりました。
(デザイン総合コース 26歳 岡山県)

アプリ開発のプロジェクトマネージャーをしていて、一緒に働くデザイナーと、より深く会話できるようになりたいと思っています。
(デザイン総合コース 31歳 東京都)

資格取得に チャレンジ

学芸員資格を取得するために入学しました。子どもの受験と同じタイミングで、親子それぞれ新しい環境で学んでいます。
(芸術研究コース 39歳 東京都)

西洋美術が好きで、よく美術館に通っています。教育関係の仕事をしているので、美術について学びながら教職の資格取得も目指したいです。
(芸術研究コース 24歳 千葉県)



コース紹介

より専門性を深め、
横断的な思考を育てる。
未来へつながる4つのコース。

ムサビ通信では、4つのコースから自身の専攻を選んで学んでいきます。油彩画を中心に新たな可能性を視野に入れた表現を学ぶ「絵画表現コース」、日本画ならではの描画材や技法からオリジナルな表現を探る「日本画表現コース」。情報・環境・社会を柱にして横断的にデザインを学ぶ「デザイン総合コース」に、芸術文化を読み解く視点や方法を学ぶ「芸術研究コース」。それぞれの関心に基づいて専門性を養い、アート・デザインの多様化に対応できる豊かな学びを提供します。

P.23

絵画表現コース Painting Course

現代の美術では表現媒体の多様化が進み、これまでのカテゴリーには収まらないポータリティ化が起こっています。この現状と将来を見据え、油彩画を中心に版画やさまざまな媒体と手段による表現を選択的に学びます。伝統的な技術から現代の表現まで幅広い知識と教養を身につけながら、これまでのジャンルにとらわれない、新たな可能性をも視野に入れた表現を目指します。

P.29

日本画表現コース Japanese Painting Course

古来から受け継がれている日本画材である「膠」「墨」「岩絵具」「金・銀箔」「金・銀泥」「毛筆」「さまざまな和紙」「絵絹」などを用いて、日本画ならではの描法・技法を学びます。この温故知新一古きを温ね新しきを知る見解を基に、自己の新たな表現を生み出し、ひいては現代絵画としての日本画の創造性・可能性を高めていくことを目的とします。

P.35


デザイン総合コース Synthetic Design Course

今やデザインは、コンピュータやネットワークの利用が当たり前となり、その意味や役割も大きく変わりつつあります。これまでデザインの領域では平面、空間、立体といった造形的なカテゴリーによって分けられていましたが、それらを一つのデザインとして捉え直し、「情報」「環境」「社会」を3つの大きな柱として、それぞれの専門領域を横断的に学びます。

P.41

芸術研究コース Art Study Course

造形文化を中心に、芸術文化を読み解く視点や方法を学びます。芸術文化に関する認識の成り立ちを理解し、その研究方法を「資料・情報の調査と分析」「研究テーマの発想・構想」「成果の論述・表現」の実践を通して身につけ、最終的に卒業研究に取り組みます。また、必要な科目を履修することで学芸員資格を取得することができます。

A hand in a dark sleeve holds a brush, applying paint to a canvas. The canvas features abstract, layered textures with various shades of grey, black, and white. The background is a solid, light yellow color. The overall composition is vertical, with the hand and brush entering from the left side.

油絵学科

絵画表現コース

Department of Painting

Painting Course

多様な表現と描く楽しさを知り、思考を深め、
自分の「描きたいもの」に向き合う。

基礎を学ぶ

造形基礎Ⅰ デッサンA デッサン表現
造形基礎Ⅱ デッサンB

知識を得る

美術入門
絵画表現材料
絵画空間論

絵画表現材料研究

1年次

2年次

3年次

絵画表現基礎Ⅰ
絵画表現基礎Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

絵画表現Ⅲ
絵画表現Ⅳ

絵画表現Ⅴ
絵画表現Ⅵ

見方や考え方を学ぶ

技術を学ぶ

絵画研究Ⅰ
版表現Ⅰ

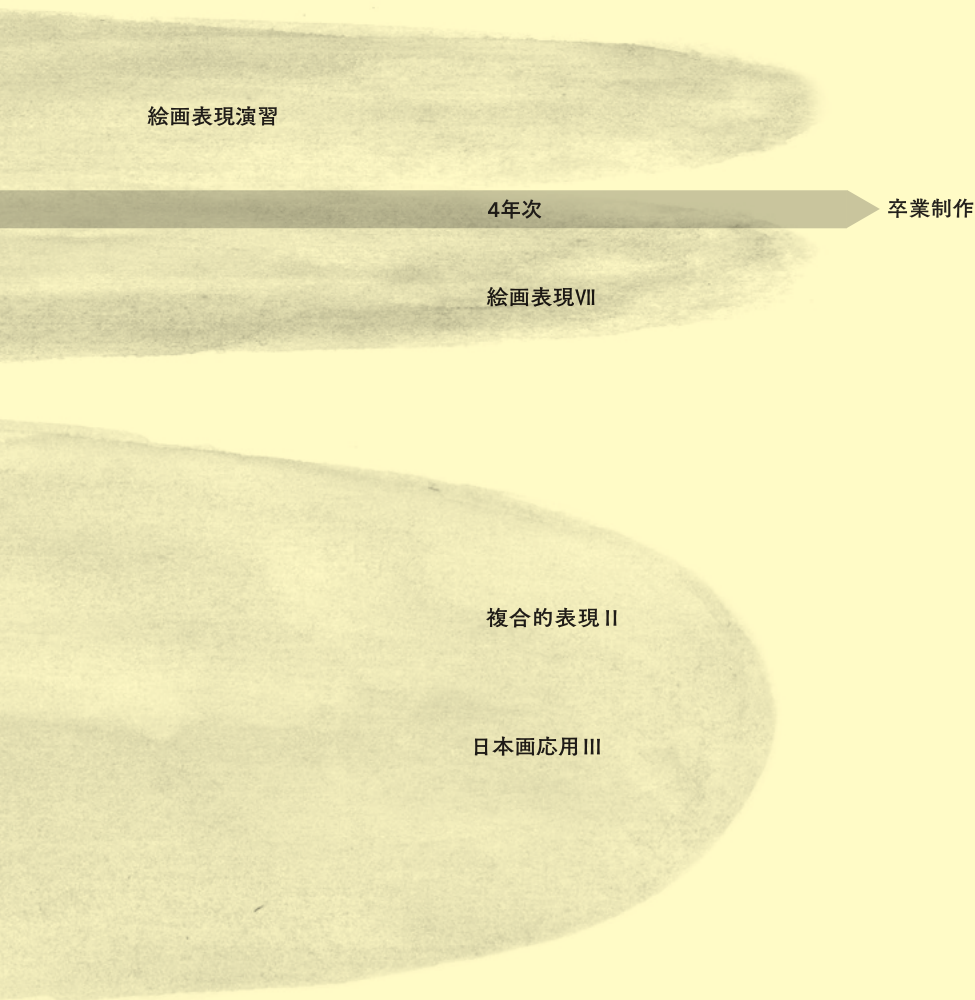
絵画研究Ⅱ
版表現Ⅱ

複合的表現Ⅰ

日本画基礎Ⅰ
日本画研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

日本画基礎Ⅱ
日本画基礎Ⅲ
日本画基礎Ⅳ

日本画応用Ⅰ
日本画応用Ⅱ



有史以前の洞窟画から数万年にわたる長い絵画の歴史の中で、絵画表現の素材も手段もさまざまに変化してきました。今日では、600年近い歴史を誇る油彩画はもとより、アクリル絵具や他の新しい素材も特別なものではなくなっています。また直接的に描くだけでなく、版を使った表現やそれらを複合的に使った表現、さらにはオブジェや装置を使ったインスタレーション（仮設展示）など、その手法は多様化し、これまでのカテゴライズでは収まりきらなくなっているのが現状です。

このような現代美術の状況の中で、絵画表現コースではそれぞれが適した表現を見出せるように科目を設置しています。初めて絵画を学ぶ人には、造形の本質を知り基礎力を養うための科目や、道具や材料について知るための科目を設けています。そして、油彩画はもとより、古典から現代までのさまざまな素材や表現手段を選択的に学ぶことによって、幅広い知識と経験を得ることができます。

絵画表現コースの必修科目では、絵画の表現に必要な知識を身につけていきます。対象の見方や捉え方、明暗と色彩、構図や構成、絵画空間の表現など、造形に必要なさまざまな要素に焦点を当てて学習します。また、実技科目だけでは不足しがちな造形の思考を学ぶ科目も設置しており、それぞれが描くテーマの発見につなげていきます。これらはコースの主柱となる科目ですが、選択必修科目と造形総合科目には、表現方法ごとに適した素材や技術、媒体と手段を学ぶことができる科目を設置しています。たとえば、「版表現」では版画の版種ごとの技術、「絵画研究」ではテンペラやフレスコなど古典技術、油彩画の古典技法、そして「複合的表現」では現代美術に触れるなど、さまざまな技術や技法が習得できます。これらから自由に選択し、それぞれが求める表現に結び付けていきます。

※絵画表現コースの学生は、日本画表現コースの学科別専門科目を履修することができます。

exercise 01**絵画表現基礎Ⅰ B****〔静物を描く〕**

物の見方や造形の考え方を学ぶ上で、最も取り組みやすく、かつ普遍性のある静物を描きます。構図や構成、空間の表現や色彩など、絵画表現の基礎を学ぶこととなりますが、なにより、描くことの楽しさと奥深さを体感することが目的です。

exercise 02**絵画表現Ⅲ B****〔人体の観察と表現〕**

人体は絵画史の中で最も多く描かれている普遍的なテーマであると同時に、造形を学ぶ上で多くの要素が含まれる重要な題材です。人体をしっかり観察し、そこで得られた発見を基に、それぞれの表現を目指します。

exercise 03**版表現Ⅰ****〔木版またはリトグラフ〕**

現代の美術ではさまざまなメディアを使用した表現が行われていますが、その一つである版を通した表現を経験します。間接的で複数性という特性と表現の関係を体感しながら、その基本技法を習得します。

exercise 04**絵画表現Ⅵ****〔それぞれのテーマを考える〕**

絵画表現とは、それぞれのテーマを考え、そのテーマに適したメディアや材料、表現方法で制作することが本来の目的です。そのための足掛かりとなる実験的な制作を試みます。





絵画表現コース

履修モデル

…文化総合科目 / …造形総合科目 / …学科別専門科目

通…通信授業 / 画…面接授業 / ㊗…メディア授業 ☆は必修科目、◎は選択必修科目
授業科目はP12-13を参照してください。

1年次

- 美術入門…㊗ 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…11単位
- デッサンA…通 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…8単位
- ☆ 絵画表現基礎ⅠA…通 2単位
- ☆ 絵画表現基礎ⅠB…画 2単位
- ◎ 絵画表現基礎Ⅱ…通 2単位
- ◎ 絵画表現基礎Ⅲ…画 2単位
- ◎ 絵画表現基礎Ⅳ…画 2単位

年間修得単位の目安

通信授業 約 17 単位
面接授業 約 11 単位
メディア授業 約 4 単位

2年次

- 文化総合科目から自由に選択…13単位
- デッサン表現…通 2単位
- 絵画研究ⅠA…通 2単位
- 絵画研究ⅠB…画 2単位
- 版表現Ⅰ…画 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…4単位
- ☆ 絵画表現ⅢA…通 1単位
- ☆ 絵画表現ⅢB…画 2単位
- ☆ 絵画表現ⅣA…通 1単位
- ☆ 絵画表現ⅣB…画 2単位

通信授業 約 18 単位
面接授業 約 13 単位

3年次

- 絵画表現材料研究…㊗ 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…10単位
- 絵画研究ⅡA…通 2単位
- 絵画研究ⅡB…画 2単位
- 版表現Ⅱ…画 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…4単位
- ☆ 絵画表現ⅤA…通 1単位
- ☆ 絵画表現ⅤB…画 2単位
- ☆ 絵画表現ⅥA…通 1単位
- ☆ 絵画表現ⅥB…画 2単位
- ☆ 絵画表現演習…画 1単位
- ◎ 複合的表現ⅠA…通 1単位
- ◎ 複合的表現ⅠB…画 2単位

通信授業 約 16 単位
面接授業 約 14 単位
メディア授業 約 1 単位

4年次

- 文化総合科目から自由に選択…8単位
- 造形総合科目から自由に選択…10単位
- ☆ 絵画表現ⅦA…通 1単位
- ☆ 絵画表現ⅦB…画 2単位
- ☆ 卒業制作…通 4単位・画 2単位
- ◎ 複合的表現ⅡA…通 1単位
- ◎ 複合的表現ⅡB…画 2単位

通信授業 約 20 単位
面接授業 約 10 単位

☆ 必修科目

必修科目には、絵画の基礎を学ぶ「絵画表現基礎」と、専門的な学習を行う「絵画表現」があります。「絵画表現基礎Ⅰ」では描くことの楽しさと同時に、その奥深さを知ることになります。そして「絵画表現Ⅲ-Ⅶ」では、より専門的な知識を身につけ、それぞれの表現に結び付けるための学習をします。また3~4年次には、造形の思考を学ぶための「絵画表現演習」があります。これらの学習の集大成として、「卒業制作」で各自のテーマと素材での制作を行います。

◎ 選択必修科目

「絵画表現基礎Ⅱ-Ⅳ」は基礎力を養う科目で、それぞれの志向に合わせて選択することになります。3~4年次の「複合的表現Ⅰ-Ⅱ」では、新たな表現の可能性として、現代美術の一端に触れることとなります。これらの選択必修科目はそれぞれ異なる内容ですので、すべてを選択することもできます。


1年次からの選択必修科目

◎ 絵画表現基礎Ⅱ-Ⅳ

3年次からの選択必修科目

◎ 複合的表現Ⅰ-Ⅱ

*初めて絵画の学習に取り組む人は、「造形基礎Ⅰ-Ⅱ」を履修することで、造形の最も基本となる考え方や技術を学ぶことができます。必修以外では、「美術入門」と「絵画表現材料」は、これから絵画表現を学ぶ上でぜひ選択しておきたい科目です。「デッサンA-B」「デッサン表現」は描写力と発想力を養い、「版表現Ⅰ-Ⅱ」では版画の基礎技術を身につけます。また、「絵画研究Ⅰ-Ⅲ」では油彩画の古典技法などを学びます。これらを選択的に履修することで、それぞれの表現の幅を広げていくことになります。

A hand holding a traditional Japanese brush (suibigami) over a textured surface. The brush has a wooden handle and a dense, rounded head of hair. The background is a light-colored, textured surface, possibly a piece of paper or fabric, with some faint, dark markings. The overall tone is monochromatic and artistic.

油絵学科

日本画表現コース

Department of Painting

Japanese Painting Course

日本画表現コース

D i a g r a m

伝統的な日本画の技法を学び、
オリジナルな世界観を表現する。

基礎

日本画表現入門
日本画基礎Ⅰ
日本画基礎Ⅱ

用具を揃える・扱う

1年次

日本画基礎Ⅲ
日本画基礎Ⅳ
日本画基礎Ⅴ

基礎力の充実

2年次

応用

日本画表現演習
日本画応用Ⅰ
日本画応用Ⅱ

自己表現の追求と
素材の研究

3年次

日本画研究Ⅰ

制作工程の学習

日本画研究Ⅱ

日本画研究Ⅲ

教養

美術入門
日本画材料学
造形基礎Ⅰ・Ⅱ

日本美術史Ⅰ
デッサン A
デッサン B
デッサン研究

美術の歴史と鑑賞
絵画研究Ⅰ

絵画表現基礎Ⅰ・Ⅱ
絵画表現材料



日本画応用Ⅲ

自己表現の確立

4年次

卒業制作

絵画空間論

版表現Ⅰ・Ⅱ

複合的表現Ⅰ・Ⅱ

明治時代の西洋文化取り入れとともに西洋画の対語として生まれ用いられるようになった「日本画」は、東洋画の伝統を受け継ぎながら日本の風土に根ざした独自の表現法を築き、今日さらに現代絵画が示す幅の広さと可能性を踏まえ、日本絵画の創造性を高めています。

特徴的な日本画材としては、膠（にかわ）、岩絵具、箔、泥、墨、和紙、絹、板、漆喰などが上げられます。それらの用具用材を生かした線描や伝統的な技法は素材や材料と密接に結び付き、現在では新しい用具用材も生まれつつ、表現の可能性を育んでいます。

日本画表現コースでは、日本画領域を学ぶために用具用材を扱い使いこなすことを基本とし、それらを使って絵画として描く力を養っていきます。

カリキュラムは、まず日本画の用具用材を揃え扱うことから出発し、日本画を描く上で必要なさまざまな技法を習得したのち、自分なりの描きたい手法を編み出す科目へと、基礎から応用へ階段式に学習を進めていきます。

入門として位置付けられている「日本画基礎Ⅰ」は、日本画関連科目をスムーズに進めるための基本となる大切な科目です。そこから発展して、日本画を描くための制作工程研究、絵巻物を利用した現状模写、素材研究としての絹や麻に描く、箔を使ってまた個性の可能性を研究するなど個々がオリジナルな世界観へと繋げられる科目が用意されています。日本画を学ぶ上では描く学習だけでなく、日本の文化を考えることも重要です。必修科目の他にも、日本画に関する科目として「日本画材料学」のように教養面も含めた学習をすることを推奨します。

学生の自主的な学習はもちろん、その人なりの個性を伸ばすことに重点を置いた指導を行います。

※日本画表現コースの学生は、絵画表現コースの学科別専門科目を履修することができます。

exercise 01

日本画基礎 I

〔日本画を描く〕

日本画の用具用材の紹介をもとに、与えられたモチーフを使い、F15号以上の画面への紙本着彩を通して用具の扱い方および制作の基礎となる準備から完成までの工程を体験します。日本画の初学者がはじめに取り組む課題です。

exercise 02

日本画研究 III

〔墨を使って描く〕

墨によるデッサンから、本画へのプロセスとしての小下図、大下図の追求を通して、最終的には大作を描きます。付立てや風景等を題材に描いた下図をもとに墨で大作を仕上げることで、独自の視点で捉えることと、水がもたらす表現の可能性を追求します。

exercise 03

日本画基礎 III B

〔古典模写〕

古典作品の模写を行います。作品の鑑賞も含め、模写として描き再現することで、描写の工程、描写法など、日本画素材がどのように扱われ使用されているかを実践的に学び、古典作品に用いられているさまざまな技法や様式を検証することを目的とします。

exercise 04

日本画応用 I B

〔意匠研究〕

この課題では、日本画制作におけるオリジナルな表現、自己に合った表現を追求するためのモチーフの選択、取材の仕方や画面への処理法の研究へと学習を発展させます。さらには、金箔や銀箔などを用いた際の装飾性や意匠性の役割を学び、表現としてどのような可能性があるかを試みることも目標とします。





日本画表現コース

履修モデル

…文化総合科目 / …造形総合科目 / …学科別専門科目

通…通信授業 / 面…面接授業 / ㊗…メディア授業 ☆は必修科目、◎は選択必修科目
授業科目はP12-13を参照してください。

1年次

- 美術入門…㊗ 1単位
- ☆ 日本画表現入門…㊗ 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…9単位
- 造形基礎Ⅰ…通 2単位
- デッサンA…通 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…6単位
- ☆ 日本画基礎Ⅰ…面 2単位
- ☆ 日本画基礎Ⅱ…通 2単位
- ◎ 日本画研究Ⅰ…通 2単位
- ◎ 日本画研究Ⅱ…面 2単位
- ◎ 日本画研究Ⅲ…面 2単位

年間修得単位の目安

通信授業 約 19 単位
面接授業 約 8 単位
メディア授業 約 4 単位

☆ 必修科目

必修科目は、全ての日本画に関連する科目を履修する上で「日本画基礎Ⅰ」を先に受け、その他の必修科目は必要な力を養うように基礎から応用へと階段式に内容が組まれています。「基礎」がついている科目は用具を扱う基本を重点的に学び描く楽しさを味わい、「応用」がついている科目はオリジナルな作品を描くことを目的に高度な力を養うための課題内容になっています。

2年次

- 日本画材料科学…通 2単位
- 日本美術史…通 2単位
- 文化総合科目から自由に選択…9単位
- 絵画研究ⅠB…面 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…6単位
- 絵画表現基礎ⅠA…通 2単位
- ☆ 日本画基礎ⅢA…通 1単位
- ☆ 日本画基礎ⅢB…面 2単位
- ☆ 日本画基礎ⅣA…通 1単位
- ☆ 日本画基礎ⅣB…面 2単位
- ☆ 日本画基礎Ⅴ…通 2単位

通信授業 約 21 単位
面接授業 約 10 単位

◎ 選択必修科目

選択必修科目は3科目用意されており、その中から1科目を選択することで卒業所要単位を満たすようになっています。理想としては1年次に履修するのが望ましいですが、どの年次に履修しても効果のある内容になっています。3科目全てを履修するとさらに良い学習効果が得られます。

- ◎ 日本画研究Ⅰ
- ◎ 日本画研究Ⅱ
- ◎ 日本画研究Ⅲ

3年次

- 絵画空間論…通 2単位
- 美術解剖学…通 2単位
- 文化総合科目から自由に選択…7単位
- 版表現Ⅰ…面 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…10単位
- 複合的表現ⅠA…通 1単位
- ☆ 日本画表現演習…面 1単位
- ☆ 日本画応用ⅠA…通 1単位
- ☆ 日本画応用ⅠB…面 2単位
- ☆ 日本画応用ⅡA…通 1単位
- ☆ 日本画応用ⅡB…面 2単位

通信授業 約 21 単位
面接授業 約 10 単位

* 日本画を描いたことがない人や造形の基礎学習が不十分な編入生は、必要に応じて造形総合科目から「造形基礎Ⅰ、ⅡA、ⅡB」や「デッサン」「絵画研究」の名称が付いた科目の履修を推奨します。また文化総合科目では日本画に関係のある科目を中心に履修することを推奨します。

4年次

- 文化総合科目から自由に選択…11単位
- 造形総合科目から自由に選択…9単位
- 絵画表現基礎Ⅱ…通 2単位
- ☆ 日本画応用ⅢA…通 1単位
- ☆ 日本画応用ⅢB…面 2単位
- ☆ 卒業制作…通 4単位・面 2単位

通信授業 約 23 単位
面接授業 約 8 単位

デザイン情報学科

デザイン総合コース

- ① ユニットボタン
- ② 完成セット一覧
- ③ ピクトグラムを作成クリ...
- ④ ユニットボタンを修正する場合は、ノ...
- ⑤ 「保存 box に移動」をクリックすると、黄色枠に...
- ⑥ 修正する時はピクトセット一覧の該当セ...



ピクトグラム作成グリッド

クリックするとピクトグラム作成グリッドを非表示にすることができます。

クリックすると右の完成欄に作品が移動します。

クリックすると右の完成欄に作品が移動します。



選択している素材は周辺の白地をクリックすると非表示になります。

Department of Design Informatics

Synthetic Design Course

デザイン総合コース

D i a g r a m

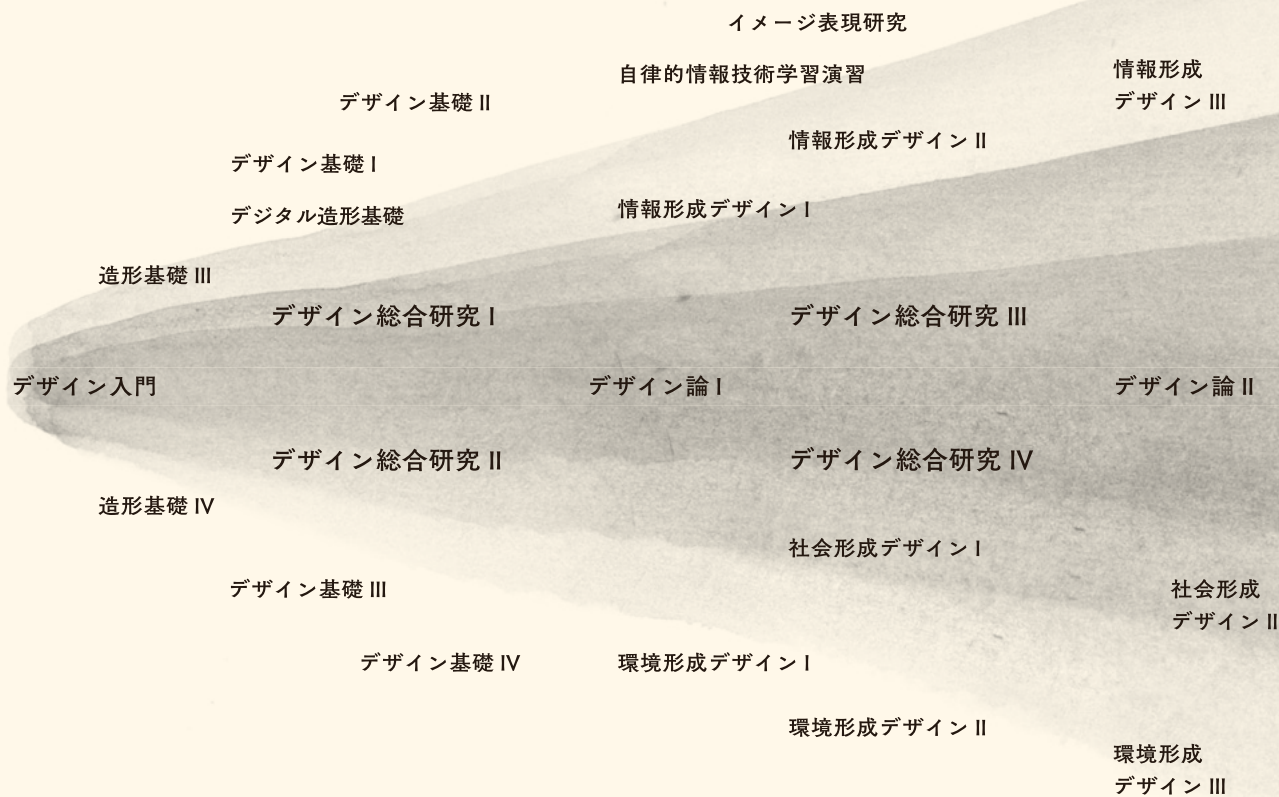
「情報」「環境」「社会」を3つの柱に、
横断的にデザインを学ぶ。

発想のための視点と
具現化するためのスキルを学ぶ

1年次

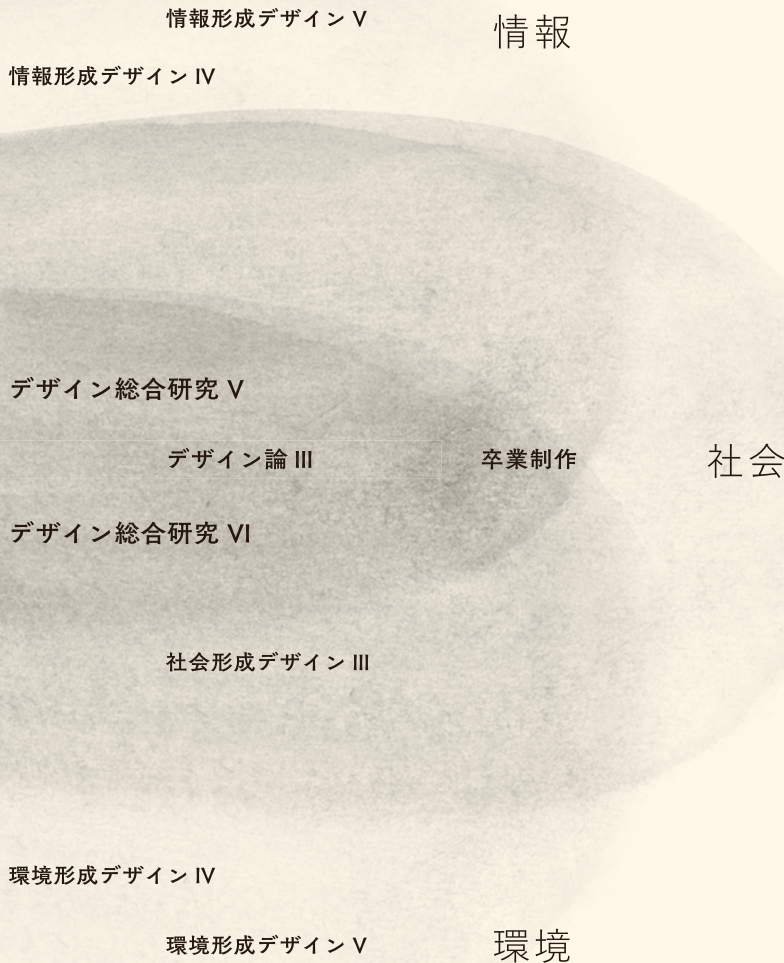
2年次

3年次



自分自身のテーマ(問題)を発見し、
表現(解決)する力を育む

4年次



一般的にデザインの領域は、平面、空間、立体といった造形的なカテゴリーによって分けられていますが、デザイン総合コースでは造形的なカテゴリーではなく、「情報」「環境」「社会」を3つの大きな柱にし、横断的にデザインを学びます。

昨今、メディアや社会課題の多様化によって、さらに視野の広いデザインが求められるようになってきました。ソーシャルデザイン、UXデザイン、スペキュラティブデザインなど新しい分野が登場し、デザイン思考、サービスデザインといった、デザインの思考プロセスを社会やビジネスに役立てる手法がメソッド化されています。デザイン総合コースはそのようなメソッドを学ぶのではなく、その先にある世界を見据えて、それぞれの学生が自分自身のデザインの領域を形成するコースです。

コースのカリキュラムは、自らの“デザイン”の志向性を重視しながら領域を横断的に学び、変化する社会に対応して総合的に問題を解決するため「デザインとそれを実装する力」を養う目的で構成されています。

必修科目群「デザイン総合研究」では、ワークショップやフィールドリサーチ、ディスカッションなどさまざまな実験的試作を通じて「構想する力」すなわち“デザイン”のもととなる発想を学びます。

選択必修科目群「形成デザイン」では「つくる力」すなわち「形成する力」を身につけ、構想を実現する力を学びます。科目の組み合わせによって、それぞれの学生の志向する分野、あるいは新しいデザイン分野の思考力とスキルを身につけることができます。

さらに、これからの社会において、コンピュータやネットワークの知識は不可欠です。基礎的な知識や、従来のデザイン系アプリケーションだけでなく、プログラミングによって、構想力や形成力を実装する力を学ぶこともできます。

exercise 01

デザイン総合研究Ⅳ
[メディアの発見]

「メディアで遊ぼう!」をキーワードに、グループ単位でフィールドワークを行いながら、「メディア環境」を多角的に考察していきます。自らの手で実際にメディアとメディア環境を作り、実践・提案をします。プレゼンテーションでは領域に縛られないさまざまな実験的作品が発表されます。

exercise 02

情報形成デザインⅤ
[データグラフィックス]

これまでもグラフィックデザインの領域では、調査に基づくデータを視覚的に表すことによって、情報をわかりやすくデザインしてきました。この科目では自分で測り採ったデータをもとに新たなグラフィック表現を考えることや、プログラミングによって、視覚化のシステムを構築することを学びます。

exercise 03

環境形成デザインⅠ
[コミュニケーション空間の機能と景観]

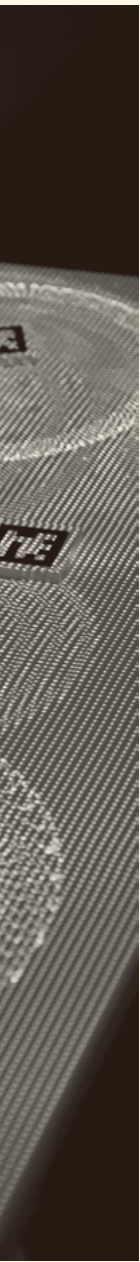
われわれの生活環境は、社会の進化と共にその幅を広げていきます。この科目では、指定された公園をコミュニケーション空間として捉え、周辺環境、土地の記憶、成立の背景などを考慮して独自のコンセプトを作成し、新しい価値を見出すための空間やプロダクトなどを提案します。

exercise 04

社会形成デザインⅢ
[コミュニティデザインの考察]

より良いコミュニティづくりのために、人を巻き込む仕掛けを作ることもデザインです。この科目ではコミュニティデザインの拠点見学やグループワークなどを通して、イベントの企画運営に必要な合意形成のためのプロセスのデザイン、プロデュースなど複合的要素を学びます。





デザイン総合コース

履修モデル

…文化総合科目 / …造形総合科目 / …学科別専門科目

通…通信授業 / 面…面接授業 / ×…メディア授業 ☆は必修科目、◎は選択必修科目
授業科目はP12-13を参照してください。

1年次

- ☆ デザイン入門…× 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…15単位
- デジタル造形基礎Ⅰ…面 1単位
- デジタル造形基礎Ⅱ…面 1単位
- デザイン基礎ⅠA…通 2単位
- デザイン基礎ⅠB…面 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…6単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅰ…通 1単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅱ…× 1単位

年間修得単位の目安

通信授業 約 18 単位
面接授業 約 8 単位
メディア授業 約 4 単位

☆ 必修科目

必修科目は、デザインの歴史や事例を通してその考え方に触れる「デザイン入門」「デザイン論」と、ワークショップやフィールドリサーチ、ディスカッションなどを通して構想する力を学ぶ「デザイン総合研究」によって構成されています。4年次には、自分自身のテーマを設定して学習の集大成となる卒業制作に取り組みます。なお、必修科目のスクーリングではノート型パソコンが必携です。

2年次

- ☆ デザイン論Ⅰ…通 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…8単位
- デザイン基礎ⅢA…通 2単位
- デザイン基礎ⅢB…面 2単位
- デザイン基礎ⅣA…通 2単位
- 造形総合科目から自由に選択…4単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅲ…面 2単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅳ…面 2単位
- ◎ 社会形成デザインⅠA…通 2単位
- ◎ 社会形成デザインⅠB…面 2単位
- ◎ 情報形成デザインⅠA…通 2単位
- ◎ 情報形成デザインⅠB…面 2単位

通信授業 約 21 単位
面接授業 約 10 単位

◎ 選択必修科目

2～4年次の選択必修科目は「情報」「環境」「社会」の3つのカテゴリに分かれ、さまざまな演習科目が用意されています。それらを学生の志向に合わせて、横断的に、あるいは専門的に組み合わせて学ぶことができます。科目には通信授業(A)と面接授業(B)が用意されているので、学び方に応じて、どちらか、あるいは両方を選択することも可能です。

3年次

- ☆ デザイン論Ⅱ…× 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…10単位
- 造形総合科目から自由に選択…7単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅴ…× 2単位
- ☆ デザイン総合研究Ⅵ…通 2単位
- ◎ 情報形成デザインⅡA…通 2単位
- ◎ 環境形成デザインⅠA…通 2単位
- ◎ 環境形成デザインⅡA…通 2単位
- ◎ 社会形成デザインⅡA…通 1単位
- ◎ 社会形成デザインⅡB…面 2単位

通信授業 約 23 単位
面接授業 約 5 単位
メディア授業 約 3 単位

2年次からの選択必修科目

- ◎ 情報形成デザインⅠ—Ⅱ
- ◎ 環境形成デザインⅠ—Ⅱ
- ◎ 社会形成デザインⅠ

3年次からの選択必修科目


- ◎ 情報形成デザインⅢ—Ⅴ
- ◎ 環境形成デザインⅢ—Ⅴ
- ◎ 社会形成デザインⅡ—Ⅲ

4年次

- デザイン論Ⅲ…× 1単位
- 文化総合科目から自由に選択…12単位
- 造形総合科目から自由に選択…9単位
- ◎ 情報形成デザインⅢA…通 1単位
- ◎ 情報形成デザインⅣA…通 1単位
- ◎ 環境形成デザインⅢA…通 1単位
- ◎ 社会形成デザインⅢA…通 1単位
- ◎ 社会形成デザインⅢB…面 2単位
- ☆ 卒業制作…通 2単位・面 2単位

通信授業 約 23 単位
面接授業 約 8 単位
メディア授業 約 1 単位

* 造形やデザインの基礎学習が不十分な編入生は、必要に応じて造形総合科目から「造形基礎Ⅲ—Ⅳ」、「デジタル造形基礎Ⅰ—Ⅱ」、「デザイン基礎Ⅰ—Ⅳ」を履修することで、基礎から学び始めることができます。



芸術文化学科

芸術研究コース

Department of Art, Culture and Design Studies

Art Study Course

芸術研究コース

D i a g r a m

歴史や理論からアートを知的に探究する、
真摯な研究者、優れた鑑賞者を育てる。

1年次

芸術研究学Ⅰ

造形に対する私たちの認識がどのように
成立しているか、言語表現から社会制度
までを視野に入れて学ぶ。

芸術研究リサーチ

造形に関する情報の探索と
整理・活用の方法を学ぶ。

芸術研究特殊講義Ⅰ

担当教員の特定テーマによるゼミ。
文献講読、フィールドワークなど。
提示された課題を受講者が分担して発表。

2年次

芸術研究学Ⅱ

芸術研究コンセプト

調査・観察で得た気づきや情報をふまえて
問題発見から仮説・推論を組み立てていくまでの
思考トレーニング。

芸術研究特殊講義Ⅱ

3年次

芸術研究学Ⅲ

芸術研究ライティング

造形について語り、
他者に伝える際の課題や
手法について学ぶ。

芸術研究特殊講義Ⅲ

卒業研究Ⅰ

各自のテーマに基づく
造形に関する研究と
その成果物の制作。
論文、調査報告書など。

博物館に関する科目

ミュゼオロジーⅠ
メディア論
生涯学習概論

4年次

芸術研究学Ⅳ

芸術研究特殊講義Ⅳ

卒業研究Ⅱ

卒業研究Ⅲ

博物館教育論
博物館展示論
博物館資料保存論

ミュージオロジーⅡ
博物館実習

展覧会やイベントなど、アートはますます身近になっています。またテレビや書籍、WebサイトやSNSなどでアートの情報が手軽に、大量に得られるようになっていきます。その反面、人気のアート作品の魅力が分からなかったり、専門家の評価に従うだけで自分なりの見方ができていないと感じることもあります。

アートの楽しみは、そうした状態から一歩前へ出て自分の視点で作品を捉え、発見を引き出し、それを人に伝えて共有することで、より広く、深いものになっていきます。

芸術研究コースは、見て、自由に感じて楽しむアートを、文化の所産として知的に理解し探究する対象として捉えます。アートについて調べ、疑問をもって主体的に考え、その成果を他者が理解できるよう客観的に表すための視点と方法を、体系的に学ぶコースです。

コースのカリキュラムは、造形を中心に芸術文化を研究するための基本的な知識と能力を養う目的で、通信授業とメディア授業によって構成されています。「芸術研究学」では造形に対する私たちの認識の成り立ちを、言語表現から社会制度までを視野に入れて学びます。「芸術研究リサーチ」「芸術研究コンセプト」「芸術研究ライティング」は、研究の方法論を学ぶ科目です。造形に関する情報の探索と分析の方法、調査・観察で得た気づきや情報を整理して問題発見から仮説・推論を組み立てていくまでの思考トレーニング、造形について語り他者に伝える際の課題や手法を段階的に学びます。

「芸術研究特殊講義」は特定テーマによるゼミナール形式の科目です。設定された課題について各受講者の持つ知見を共有しながら、造形に対する幅広く柔軟な見方を養います。

「卒業研究」では、自分で立てたテーマに基づいて、芸術文化に関する研究に取り組みます。

exercise 01

芸術研究学Ⅰ

芸術研究の前提となる「芸術」および「作品」の概念とその成り立ちを理解し、造形を文化的・社会的な事象として研究するための視点を身につける、1年次の科目です。自身の鑑賞体験を、物（作品）・人（鑑賞者）・場（美術館）の3観点を用いて説明できることを目標に、レポート課題に取り組みます。

exercise 02

芸術研究リサーチ

造形芸術の研究やライティングに必要な文献・Web情報の探索と活用の方法、現地調査や人物取材の手法などを学ぶ、1年次の科目です。情報収集能力の向上と、集めた情報を編集・加工・引用して論文などの自己表現に活かせるようなスキルの獲得を目標に、メディア授業の方法で学びます。

exercise 03

芸術研究特殊講義Ⅰ

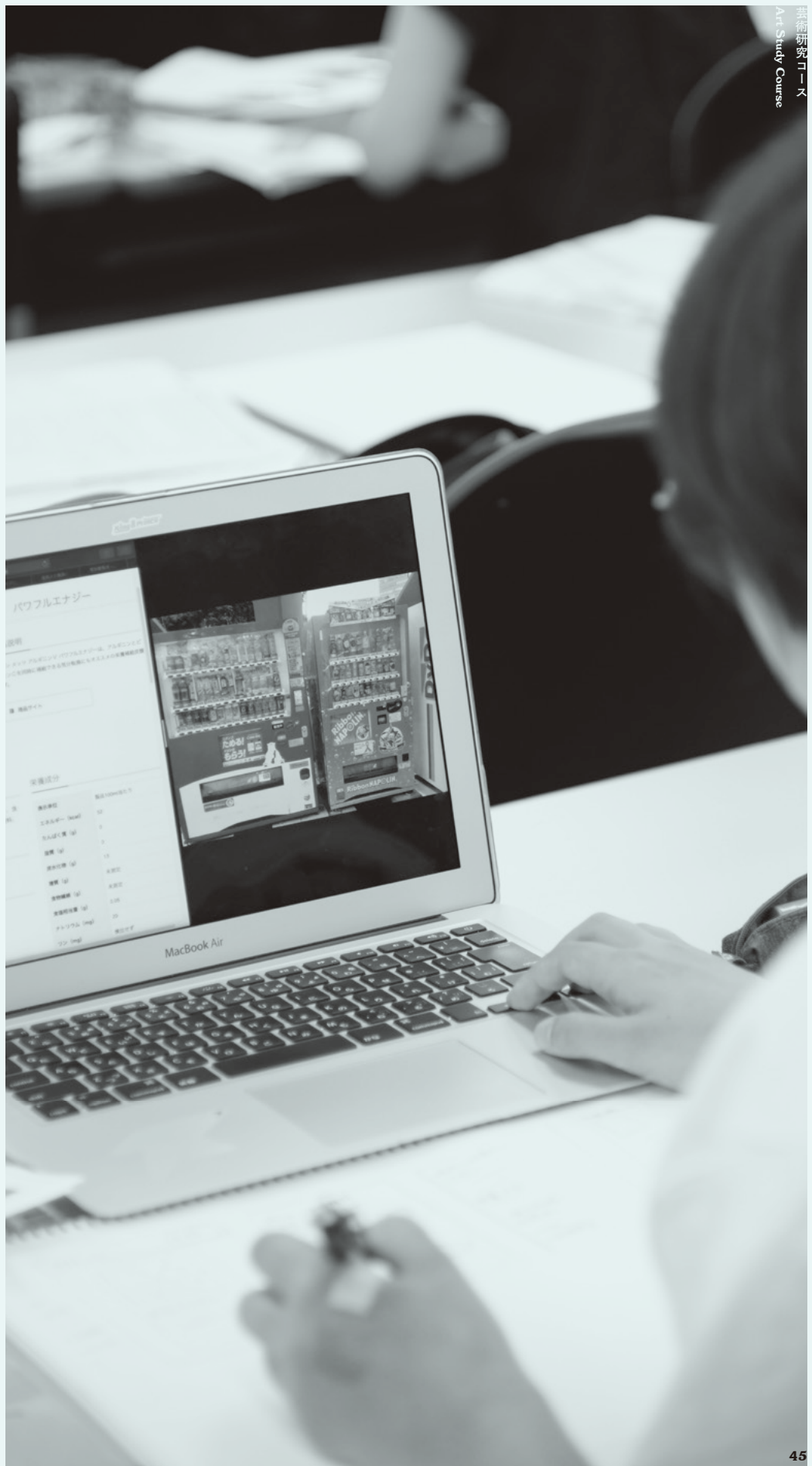
造形に関する特定テーマに基づいて受講者が調査を報告して共有し、意見交換を通してテーマに関する情報と知見を蓄積する、1年次の科目です。造形に関する事象を所定の形式にそって観察し、他者に共有可能なかたちで情報提供することを目標に、メディア授業の方法で学びます。

exercise 04

ミュゼオロジーⅠ

「ミュゼオロジー（博物館学）」の概念を理解し、博物館の成立から現在までの展開、博物館の定義と分類、博物館と博覧会等との関係、博物館における資料の区分や保存と公開、現代の博物館の動向、博物館の活動などについて、美術館の事例を中心として学ぶ、3年次の科目です。





芸術研究コース

履修モデル

■…文化総合科目 / ■…造形総合科目 / ■…学科別専門科目

☐…通信授業 / 画…面接授業 / ✕…メディア授業 ☆は必修科目、◎は選択必修科目
授業科目はP12-13を参照してください。

1年次

- 文化総合科目から自由に選択 … 15単位
- 造形総合科目から自由に選択 … 10単位
- ☆ 芸術研究学Ⅰ…☐ 2単位
- ☆ 芸術研究リサーチ…✕ 2単位
- ☆ 芸術研究特殊講義Ⅰ…✕ 1単位

年間修得単位の目安

- 通信授業 約 20 単位
- 面接授業 約 3 単位
- メディア授業 約 7 単位

2年次

- 文化総合科目から自由に選択… 13単位
- 造形総合科目から自由に選択 … 14単位
- ☆ 芸術研究学Ⅱ…☐ 2単位
- ☆ 芸術研究コンセプト…✕ 2単位
- ☆ 芸術研究特殊講義Ⅱ…✕ 1単位

- 通信授業 約 23 単位
- 面接授業 約 6 単位
- メディア授業 約 3 単位

3年次

- 文化総合科目から自由に選択 … 14単位
- 造形総合科目から自由に選択 … 8単位
- ☆ 芸術研究学Ⅲ…☐ 2単位
- ☆ 芸術研究ライティング…✕ 2単位
- ☆ 芸術研究特殊講義Ⅲ…✕ 1単位
- ☆ 卒業研究Ⅰ…✕ 2単位
- ◎ ミュゼオロジーⅠ…☐ 1単位・画 1単位

- 通信授業 約 25 単位
- 面接授業 約 1 単位
- メディア授業 約 5 単位

4年次

- 文化総合科目から自由に選択 … 12単位
- 造形総合科目から自由に選択 … 8単位
- ☆ 芸術研究学Ⅳ…☐ 2単位
- ☆ 芸術研究特殊講義Ⅳ…✕ 1単位
- ☆ 卒業研究Ⅱ…✕ 2単位
- ☆ 卒業研究Ⅲ…✕ 2単位
- ◎ ミュゼオロジーⅡ…☐ 4単位

- 通信授業 約 26 単位
- メディア授業 約 5 単位

☆ 必修科目

必修科目は、芸術研究の理論を学ぶ「芸術研究学」と、研究の方法を学ぶ「芸術研究リサーチ」「芸術研究コンセプト」「芸術研究ライティング」、特定テーマによるゼミナールの「芸術研究特殊講義」によって構成されています。3年次からは、自分の研究テーマを設定して論文を制作する「卒業研究」に取り組みます。

◎ 選択必修科目

3～4年次の選択必修科目は、「博物館に関する科目」7科目から選択し、合計6単位以上を修得します。

3年次からの選択必修科目

- ◎ ミュゼオロジーⅠ
- ◎ 生涯学習概論
- ◎ メディア論
- ◎ 博物館資料保存論
- ◎ 博物館展示論
- ◎ 博物館教育論

4年次からの選択必修科目

- ◎ ミュゼオロジーⅡ

*文化総合科目は選択科目です。そのなかの「○○入門」や「○○リテラシー」は、ムサビ通信で学ぶための基礎知識が得られる科目です。また、美術の理論や歴史に関する科目は、卒業研究につながる多角的な視点を身につけます。同じく造形総合科目も選択科目です。さまざまな造形の技法や材料を体験することで、作品や作者を深く理解する土台が築かれます。学科別専門科目には、学芸員課程を履修する際に必要な「博物館に関する科目」の一部が含まれています。



在学生の声
VOICE
2

働きながら学習する秘訣は？ ムサビ通信で学んでいる 社会人学生の声

ムサビ通信には働きながら学ぶ学生がたくさんいます。仕事との両立や時間の作り方、入学前に気になるポイントを語ってもらいました。

働きながら学習を続けられるか不安でしたが、最短で卒業を目指すのではなく、長い目で計画を立てることにしました。仕事に直結する学びが得られて大いに価値を感じています。
(芸術研究コース 48歳 東京都)

仕事との両立など、 不安はあった？

絵を学んだことがなく、入学前は内容についていけないか心配でした。美術の教員を目指して一歩ずつ基礎から学んでいます。
(絵画表現コース 29歳 東京都)

会社にムサビ通信に通っている先輩がいて、学習状況などをよく相談しています。仕事が忙しく課題があまり進まないのが現状ですが、スクーリングを受講すると学習のリズムができ、軌道に乗りやすくなります。
(デザイン総合コース 27歳 長野県)

仕事の時間を自分で調整できるので「今日は課題の日」と決めて、まとめて取り組んでいます。夜はデッサンにあてています。
(日本画表現コース 48歳 福岡県)

空き時間、移動時間を活用して教科書や参考資料を読み、少しずつレポート課題を進めています。
(日本画表現コース 20歳 千葉県)

いつ、どうやって 学んでいる？

朝、決めた時間に課題を進めています。スクーリングに通えるかは不安でしたが、あらかじめ年間スケジュールを決めれば予定を立てやすいです。
(絵画表現コース 34歳 東京都)

週末、図書館に行って学習しています。家だとTVを見てしまったりするんですよね。
(芸術研究コース 52歳 東京都)

私は仕事優先と決めて入学しました。できるときに興味のある課題を中心に取り組んでいます。
(デザイン総合コース 30歳 愛知県)

Graduation Works

卒業制作 作品集



旗野希江「The Miracle —踊る人の子ら—」
F100 キャンバス、油絵具、アルキド樹脂絵具
2023年度卒業制作

comment

画面には現代が抱える問題が比喩的に表現されている。「安らぎや平穏」「暴力や不安」といったテーマを変身した子供らに居場所を与え、画面の中でこれらの役を演じさせている。スピーディーな動きやダイナミックな構成を感じさせるのは造形的な組み立てがあるからである。有機的な動きと幾何学的な構成は表裏一体となり画面に躍動感を生んでいる。それぞれのモチーフは繰り返しドローイングする中から生まれ、それらが関連しながら物語を形作っている。

——吉川民仁教授（絵画表現コース）





佐藤円「和み」F100 キャンバス、油絵具
2023年度卒業制作



comment

作者は友人や犬をモチーフにして作品を制作した。制作時は一心不乱に画面に没頭している印象が強く、集中力の高さは画面の密度にもあらわれており、また一筆一筆に勢いがあることは作品の物質的な魅力であり、また強さにもなっている。さらに言えば描いているものは自身の大切な人たちののだが、目の前のものに真摯に向き合う姿勢は自身の向かうべき先を見据えた取り組みのように思える。

——吉川民仁教授（絵画表現コース）



江口勲「青焼き図面—地図折りの音—」
F100 キャンバス、不織布、アクリル
2023年度卒業制作

comment

作者は今ではあまり目にしなくなった青焼き図面を所有しており、経年した焼けムラに不思議な面白さを見出した。作為的でない美の存在を感じ取っていたようである。画面に実証実験するかの如く淡々と試みていた。物質的な現象を生じさせ画面に何かの形が現れるのは僅かにせよ「地と図」の関係を作るからである。どちらかが前に奥に見えるのは二つの関係次第になる。そのシーソーのような平面上の緊張感や絡繰が作品にあることを感じる。

——吉川民仁教授（絵画表現コース）





三上雄子「ファントム（球体と球体のあいだ）」
S100 紙本彩色、染料
2023年度卒業制作

comment

絵を描きたいと志してからの長い時間をかけて、自己の表現に適した素材を探求し続けた成果が本作と言えよう。表現したいイメージを具現化することに心血を注いだ秀作である。描写と表現、わかりやすさとわかりにくさのバランスの模索は長い呪縛からの自己の解放にも繋がっているのではなかろうか。そしてこの実験的な要素は到達点ではなく一つの通過点であろう。これからの展開に期待が募る。

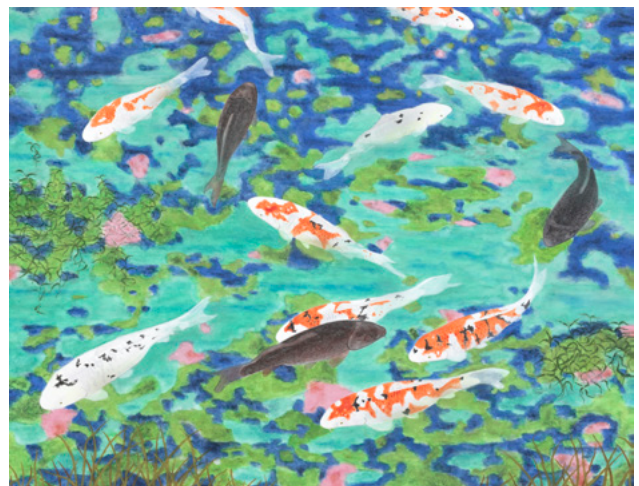
——室井佳世教授（日本画表現コース）

堀明日佳「新宿」F100 紙本彩色
2023年度卒業制作

comment

人は予期せぬものに驚きやドキドキ感を抱き魅力を感じるもの。堀さんの画面を見るとその感情に陥る。それは作者自身が発見・悦び・トキメキと共に新鮮な心持ちで画面に向かっているからではなからうか。ものづくりの根本を感じ、清々しくなる。

——室井佳世教授（日本画表現コース）



清水伸一「集う」F80 紙本彩色
2023年度卒業制作

comment

奇をてらうことなく、世の現象を眺め、形を拾い、色をさす。この淡々とした行為がこれほどまで心の安寧を呼ぶものかと、絵の根源を再認識させられた心地になる。しかしこの心地よさは、実に周到に練られ配置されたフォーメーションに支えられていることを見逃してはならない。マイルドな味わいに潜んだ堅実さがこの作品を根底から支えているのだ。物事を俯瞰して見ることができ客観性の成せる技、そこに作者自身の辿ってきた道程が垣間見えるのではなからうか。

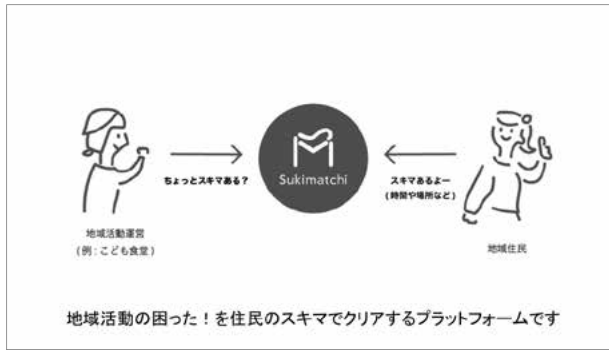
——室井佳世教授（日本画表現コース）



伊藤達彦「都合の形」
2023年度卒業制作

comment

この作品は、どこことなく微笑ましく美しい。形にはその形が生み出された理由(=都合)があるという。その「都合」を読み解く作業は、私達が日常の中でいかに無頓着に「都合」を見て触って通り過ぎていくかを再発見することでもあったように思います。本研究は、その「都合」を読み解き、可視化することを出発点としながら、恣意的に妄想した「都合たち」を提示することで見る者たちに新たな地平を想起させるものだったと言えます。
——荻原剛教授(デザイン総合コース)



鳥取県による県立美術館の整備と

《プリロ・ボックス》購入騒動に関する一考察

—報道が創る地域社会の現実と、外部環境に左右される美術館整備の意義について—

太田耕平 2023 年度卒業研究 研究報告書

●目次 (抜粋)

序論

- 1 節 研究の背景・目的
- 2 節 研究に用いる資料・方法及び報告書の構成
- 3 節 《プリロ・ボックス》の作品概要

1 章 鳥取県における美術整備の経緯

- 1 節 県立美術館整備のはじまり、凍結、再始動
- 2 節 県立美術館の建設地をめぐる動向
- 3 節 県立美術館整備の意義
- 4 節 県内における機運醸成の動向
- 5 節 県立美術館整備における意義の変遷

2 章 文化芸術や美術館に関する鳥取県民の意識

- 1 節 文化芸術振興施策に関する県民意識
- 2 節 建設場所の選定経緯から捉える県立美術館に対する県民意識
- 3 節 人口減少から見える県立美術館への県民の期待

3 章 “プリロ騒動”

- 1 節 第 1 期 (予兆期) _2022 年 7 ~ 8 月
- 2 節 第 2 期 (喧騒期) _2022 年 9 月 ~ 2023 年 1 月
- 3 節 “プリロ騒動” が起こった背景
- 4 節 第 3 期 (評価期) _2023 年 2 月 ~ 4 月 結論

4 章 報道が創る地域社会の現実と美術館整備の意義

- 1 節 喧騒期における県民説明会から捉える県民の総意
- 2 節 メディアが「創る」地域社会の現実
- 3 節 人口減少対策を経由する鳥取県の文化芸術振興

結論

●概要

本研究では、2025 年度に開館する鳥取県立美術館の整備を辿るとともに、2022 年夏から秋にかけて全国的騒動に発展した、鳥取県によるアンディー・ウォーホル《プリロ・ボックス》の購入にまつわる県内の動向を把握する。そして、地域社会において県立美術館が何を期待され、また、現代アートが県民にどのように認知されているかを考察する。

具体的には、鳥取県ウェブサイトにおける県立美術館整備の関連資料や、鳥取県議会ウェブサイトにおける行政報告資料と会議録、並びに、《プリロ・ボックス》購入に関するニュースメディアの報道記事等を収集・整理し、分析した。

その結果、鳥取県教育委員会による《プリロ・ボックス》の購入は、メディアを中心に批判が噴出した状況とは裏腹に、地元ではむしろ、本作品を県立美術館でしっかりと活用してほしいという期待感が大きいことがわかった。また、全国の都道府県で最も人口が少ない鳥取県では、県立美術館は人口減少対策のために整備されていることや、公立美術館建設の意義が、時代時代によって移り変わっていくことがわかった。

そして、メディアの片面的報道を端緒に国民が過剰に反応し、県が背中を押されるように説明会を開催していく状況からは、地域社会の現実をメディアが報道するのではなく、報道が地域社会の現実をつくっていくことも垣間見えた。

comment

2025 年 3 月開館予定の鳥取県立美術館整備を題材に、地方公立美術館の成り立ちとその意味を考察した研究。一連の出来事が俯瞰的に捉えられ、県の政策や県民意識と美術館設置との関係、作品収集の経緯が丁寧に把握されている。県議会やメディア等の反応も詳細に読解され、作品購入をめぐる状況が分析されている。地域の内部と外部の相互作用の中で形成される今日の美術館像や私たちの意識を捉えた、示唆に富む論考である。
—金子伸二教授 (芸術研究コース)



高田 友紀

「Sukimatchi

このまちの地域活動の困った！を
住民のスキマでクリアするプラットフォーム」
2023年度卒業制作

comment

「ふらっとコンビニ感覚で社会貢献」をコンセプトに、地域活動と住民のスキマをつなぐプラットフォームを提案。適用事例のひとつとして、自身が住む地域の子ども食堂14か所を取り上げ、活動参加と共にステークホルダーや地域住民への取材を行った。体験から見てきた「子ども食堂の困った！」と「住民のちょっとしたスキマ」をマッチングするしくみのデザインに取り組んだ。実ニーズに即した社会実装を目指し研究を継続している。

——上原幸子教授（デザイン総合コース）



虫壁ゆか

「ATELIER BRIC 90日間の活動記録

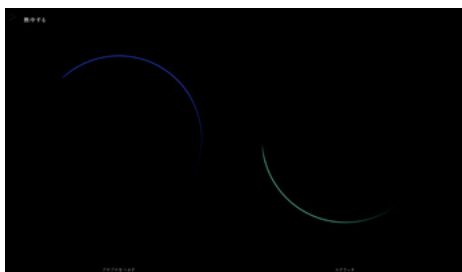
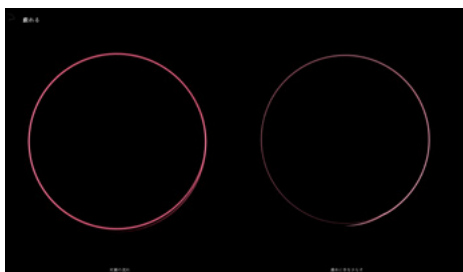
—働く学生母ちゃん、卒業制作の為に家を借りました。—
2023年度卒業制作



comment

ミニマムコミュニティの形成を目指して3か月間空き家を借り、サードプレイス「ATELIER BRIC」を立ち上げた。コミュニケーションのきっかけづくりに身の回りのモノを使った紙づくりやDIY、ワークショップを実施。一緒に手を動かし、同じ釜の飯を食べる事で人と人との距離感を縮めていった「ATELIER BRIC」はじまりの90日間の記録である。ワークショップで制作したテーブルや紙など実物を展示し、ドキュメンタリーとしてのづくり空間を再現した。

——上原幸子教授（デザイン総合コース）



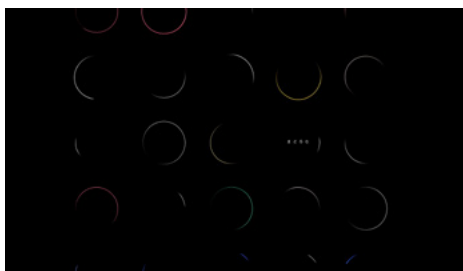
神谷智子「One-Minute Eclipses Collection」
2023年度卒業制作

comment

comment

感覚や感情を形に起こすための研究の一環として始まった作品。「きもちいい瞬間」の感覚を元に、その際に起こる感情の変化をつぶさに観察し、分析・可視化した。様々な「きもちいい」を1分間の円運動にまとめ、比較、考察できるデータベースである。

——清水恒平教授（デザイン総合コース）



彫刻家・安田 侃、作品の観察と分析

—パブリックアートにおける安田作品の好適性を考察する—

西尾知子 2023年度卒業研究 研究報告書

●目次（抜粋）

序論

1. 本研究の背景と目的
2. 安田 侃について
3. 研究方法と研究に用いた資料

1 章 安田侃のパブリックアートについて

1. 安田作品をみた人の感じ方
 - (1) 作品を紹介している最近の書籍から
 - (2) 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄、訪問者の感想録から
 - (3) 作品の観察記録から（筆者の感想）
2. 作品の形状と材質
 - (1) 作品の形状
 - (2) 作品の材質
3. 作品の設置状況（日本国内）
 - (1) 設置年
 - (2) 設置エリア

2 章 作風の変遷と故郷・炭鉱の街

1. 作風の変遷
 - (1) 学生時代（1963年～1969年）
 - (2) 渡伊時代初期（1969年～1975年）
 - (3) 今に続く独自のフォルム創作の原点（1976年～1986年）
補足・その後の《炭山の碑》
2. 展示作品の変遷と一村像
 - (1) 炭鉱の街
 - (2) 炭鉱で働く人々

第3章 パブリックアートにおける安田作品の好適性

1. 設置場所との調和
2. 永続性
3. 地域コミュニティとの連携

結論

●概要

本研究は、北海道出身でイタリアにて制仕活動が続ける安田侃（1945年～）の彫刻作品、中でも日本国内にあるパブリックアートを取り上げ、設置場所の観察と過去から現代に至るまでの作品の形態や評価の変遷を調査し、パブリックアートにおける安田作品の好適性について考察する。

1章では、安田侃の作品について、鑑賞者の感想、作品の形状と材質、国内の設置状況について調査結果をまとめ、分析する。国内の設置状況一覧表、観察記録、主な作品の形状の分類表が調査結果の資料となる。

2章では、現在の作風にいたるまでの変遷を調査し、その分岐点となったと想定される北海道美唄市にあるモニュメント《炭山の碑》の制作経緯、炭鉱の歴史と現在に続く作風の原点を確認する。

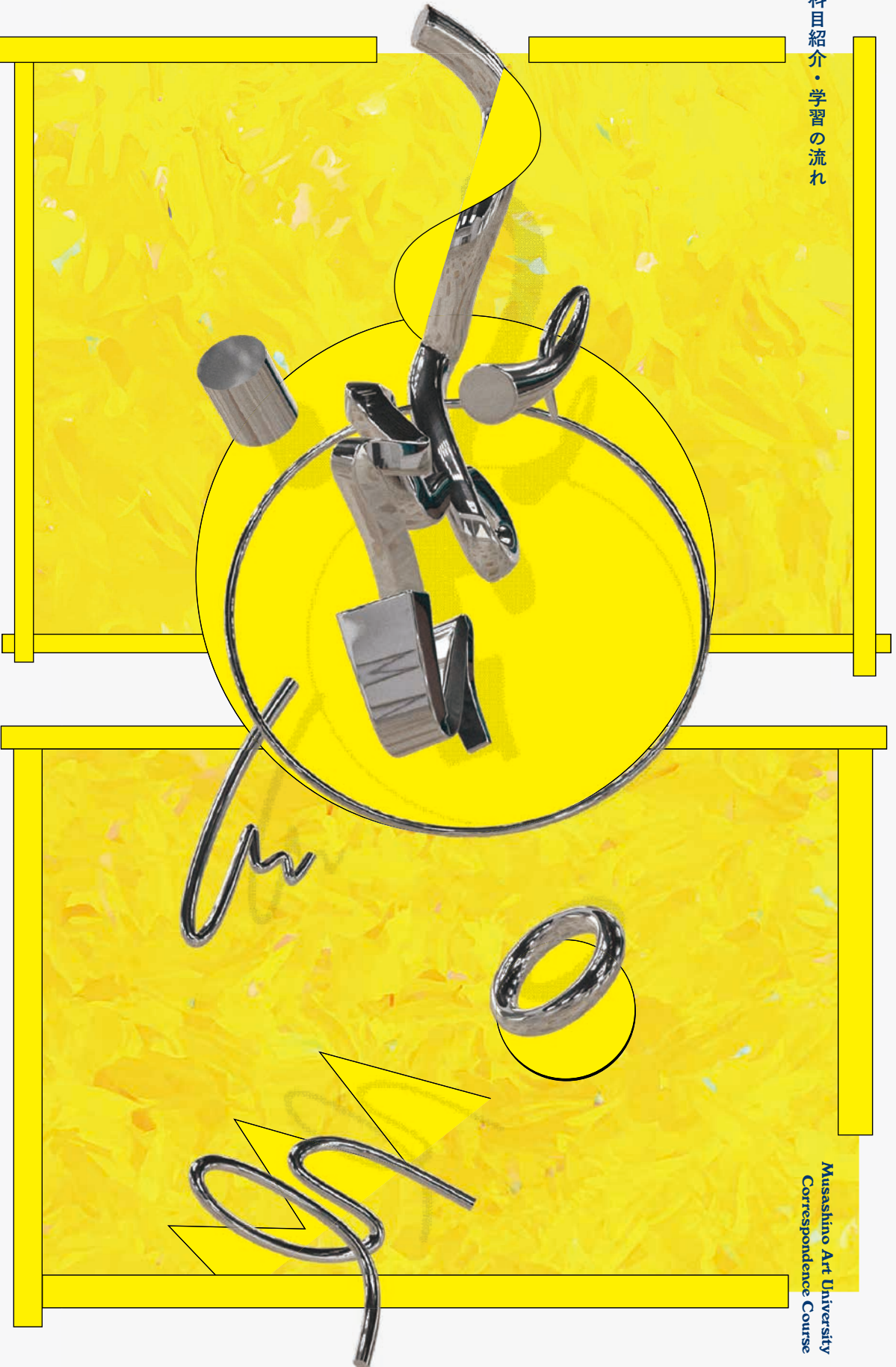
3章では、パブリックアートにおける安田作品の好適性を点検する。

彫刻の制作だけでなく、地域コミュニティとの連携や歴史を繋ぐことにも重きを置く安田の活動と作品鑑賞を通じた気づき、パブリックアートとしての存在価値について、自身の考えをまとめた。

comment

安田侃のパブリックアート作品を題材に観察調査を重ね、作品の特徴や設置の状況、周辺環境との関係を具体的に捉えた、独自性に富む研究。特に作品の大きさや形態、素材感など、実感に関わる事柄が分析や考察に積極的に生かされている。作品が鑑賞者をそこから周囲を眺める行為へと促す作用や、制作歴における作風の転換と「炭山（やま）の碑」モニュメント制作との結びつきなど、安田作品の新たな意味の発見に取り組んでいる。

——金子伸二教授（芸術研究コース）



文化総合科目

※各科目の詳細は Web サイト「在学生の方(学2課程)」の「Webシラバス」をご覧ください。

幅広い文化・教養と理論を学び、
さまざまな学問分野と
造形をつなぐ科目群。

芸術や造形について理解を深めるためには、文化に対して広く関心を持ち、教養を身につけることが重要です。文化総合科目には、人文、社会、自然という諸学問分野の基礎的、応用的授業科目があり、それぞれの興味に合った科目を選択して履修することができます。また、美術系通信教育に必要なスキルを学んだり、創造の基礎力をつけるための科目なども設置されています。

close up 01

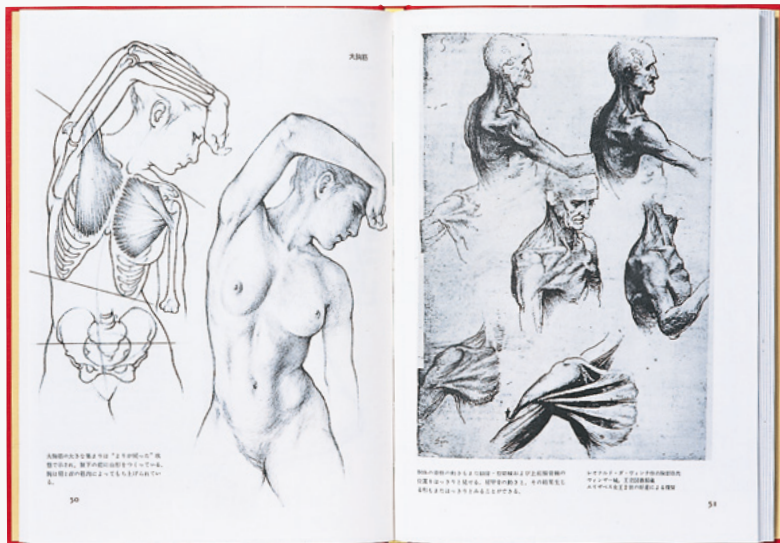
美術解剖学

ヒトや動物の内部構造を知り、立体として捉える

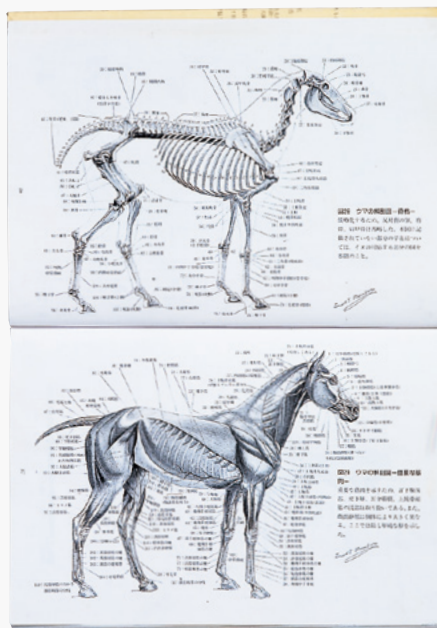
「美術解剖学」では、ヒトや他の動物の体の中にある骨格や筋肉について学びます。体の内部構造に関する知識は、体表に現れるレリーフを意味のある「かたち」として認識するための助けとなるものです。ただアウトラインを追う

だけの観察ではなく、立体としての形態やバランスを把握する力を養成していきます。

また、実際に造形作品を作成する際に、何を表現し何を省くかを、自分で選択できる目を養うことを目標とします。



教科書、ルイーズ・ゴードン『人体解剖と描写法』
(上昭二訳、ダヴィッド社)



参考文献 アーネスト・T・シートン
『美術のためのシートン動物解剖図』
(上野安子訳、マール社)

造形総合科目

※各科目の詳細は Web サイト「在学生の方(学2課程)」の「Webシラバス」をご覧ください。

より豊かな専門学習のため 造形の基礎や 総合力を身につける科目群。

コースごとの専門的な学習を進めていくためには、まず基礎的な造形力を身につける必要があります。造形総合科目には、各自が専攻する美術・デザインのジャンルを問わず、あらゆる造形分野につながる基本的な能力を獲得するための科目が設置されています。造形の基盤となる「造形基礎」や「デジタル造形基礎」のほか、工芸のさまざまな素材に触れる実習科目、製図やタイポグラフィ、コンピュータによる表現など、たくさんの科目がラインアップされています。専攻するジャンルに限らず興味を広げ、多様な経験をすることは、より豊かな表現の可能性へと導いていくでしょう。

close up 01

造形基礎 I・II

描き、創り出す、 造形表現の基礎をつくる

造形における基礎教育の在り方を、あらためて造形の根本に立ち返り、「学科や領域を超えて共通して実践できる造形の基礎」という考えからつぎつめた結果、生み出されたカリキュラムがムサビ通信の「造形基礎」です。

「造形基礎 I」では、線を引く、絵を描く、色を塗る、という人間が本来持っている手や身体を使った行為を発揮して、身体性を活かしたドローイングや感情表現につながる色彩体験を具体的に学びます。

「造形基礎 II」では、観察と描写、つまり具体的な対象を目の前にし、見て描

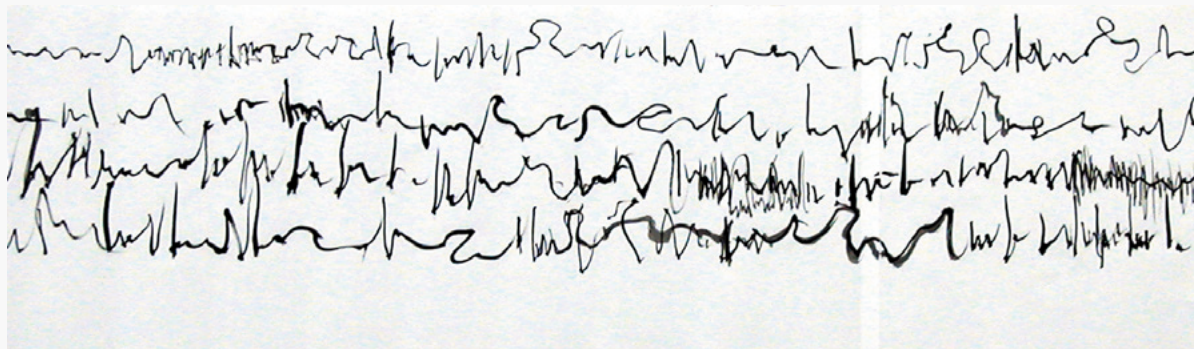
くことを行います。一般通念的な先入観を持たないように意識し、見えている像と描いている像を出来る限り近づける過程を通じて、現在の自分がどのように対象を見ているかを確認してみることがこの課題の目的です。



造形基礎 II A [観察と描写]
通信授業課題：自分の「手」を
デッサン、クロッキーする



造形基礎 II B [観察と描写]
面接授業課題：丸太を描く



造形基礎 I [手と身体/ドローイング]

通信授業課題 3：音楽を聴きながら帯状の紙にドローイングする

close up 02

造形基礎Ⅲ・Ⅳ

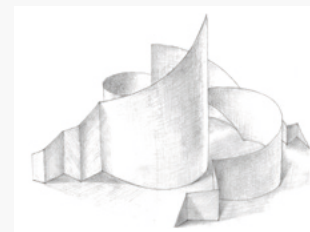
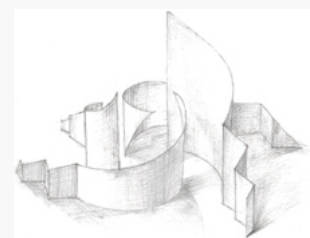
色彩、形、空間。
デザインの造形基礎を理解する

「造形基礎Ⅲ・Ⅳ」では、色や形、空間など、デザインに欠かせない造形感覚を養います。「造形基礎Ⅲ」は、デザインに必要な、色と形の修練に取り組みます。良い色彩感覚を養うために必要なのは、センスを磨くことではありません。新しい色や対比の発見、色の仕組みを理解することです。また形のアルゴリズムを考えることによって美しい形を発見できるのです。

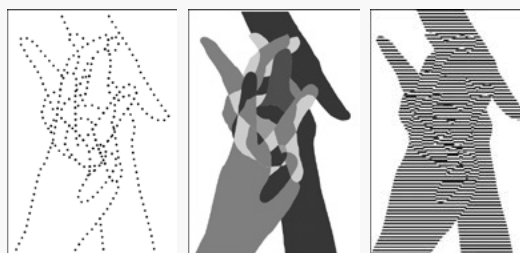
「造形基礎Ⅳ」では、立体を空間に構成し、光を照射することで生まれる空間のさまざまな表情を観察し記録します。立体と空間、光と影、そこから生まれる豊かな空間の表情を探ることは、ものと空間の関係を考察することにつながります。



造形基礎Ⅲ A [色のレシピとハーモニー]
通信授業課題：身の回りの素材を採取し色として再現し、色のハーモニーを発見する



造形基礎Ⅳ [紙の造形・空間を描く]
通信授業課題2：課題1で制作した紙の造形をスケッチ。最も良いと思われるものをデッサンする



造形基礎Ⅲ B [形のアルゴリズム]
面接授業課題：手の写真を元に形を便化しながら、形のアルゴリズムを考える

造形基礎Ⅳ [紙の造形・空間を描く]
通信授業課題1：ケント紙をカットして紙の造形を制作する



完成したデッサン



ガラス基礎実習の様子

close up 03

工芸の素材別基礎実習

自然素材からものをつくり、工芸の魅力を味わう

造形総合科目の中には、鷹の台キャンパスの充実した工房の設備を使った工芸の素材別基礎実習があり、人気のある科目の一つになっています。「ガラス基礎実習」「テキスタイル基礎実習」「金工基礎実習」「陶磁基礎実習」「木工基礎実習」の5つの素材から選ん

で取り組むことができ、実際のものづくりを通して、工芸の本質に触れることを目指します。大学の工房を使った面接授業（スクーリング）だけで行われ、それぞれの素材の加工方法と造形的な基礎を体験することができます。

1

学 習 の 流 れ 通信授業の科目例

文化総合科目
日本美術史 [通信授業 2 単位]

レポートと添削指導を通して、
日本美術を幅広く理解する。

通信授業だけで構成されている理論科目の一つ、文化総合科目の「日本美術史」では、絵画を中心に彫刻や工芸など、日本の造形全般について幅広く学習します。この科目の大きな特色は、作品固有の価値はもちろん、作者や受容者の意識、歴史的、文化的背景など、さまざまな視点から日本の造形文化について学ぶこと。そのためには、教科書を熟読するとともに、参考図書を利用したり、展覧会などに足を運んで日頃から視野を広げておくことが大切です。通信授業では、教員とじかに接することはありませんが、積極的な学習姿勢とその成果はレポートを通して教員に伝わり、きめ細かな添削によって十分な指導と評価を受けることができます。

履修登録から学習開始まで

履修登録をすると、学習に必要な教材が届きます。学習指導書に沿って教科書や参考文献などを見ながら、各自のペースで学習を開始します。



左：教科書
水尾比呂志『日本造形史』
(武蔵野美術大学出版局)

右：学習指導書
『文化総合科目・教職に関する科目』

通信授業課題 1

課題：12世紀のやまと絵の技法を伝える「源氏物語絵巻」「信貴山縁起絵巻」の2点を比較し、文化的背景などに留意しながら、それぞれの表現上の特色を述べる。

学習指導書をよく読み、一つ目の通信授業課題に取り組みます。この課題では、提示された絵巻について資料を集めて分析し、レポートを作成します。



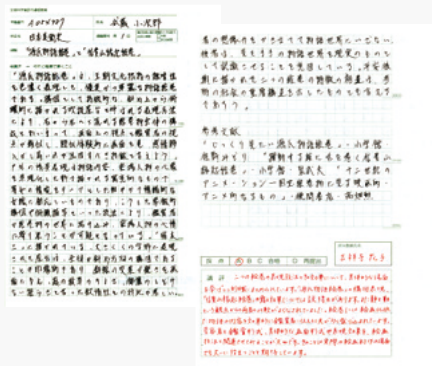
レポートの提出※1

レポートを作成し、必要な資料などを揃えて提出します。担当の教員が一人一人のレポートを添削し、評価やアドバイスを書き込んで返却します。

- 添削指導、レポート返却
- 合格（不合格の場合はレポート再提出）

※1) 科目によってはWebでのレポート提出も受け付けています。Web提出した場合は、教員の添削もWebで返却されます。

通信授業課題1 添削より（抜粋）
二つの絵巻の表現技法とその効果について、具体的な場面を挙げつつ的確にまとめられています。また静と動という観点からの両者の比較がよくなされています。（絵巻では）画面形式や表現効果を、絵画技法と関連させてみるのが大切です。そのことは絵画制作の場面でも役立つことと期待しています。



通信授業課題2

課題：江戸時代の庶民文化の華とも称される浮世絵、その絵師の中から任意の一名を選び、作品を挙げて特質を論じる。



通信授業課題2 添削より（抜粋）

歌麿作品の特徴がするどい切り口で示されています。特に浮世絵の流れや技法を把握された上で、装いや色彩などについて留意された点が素晴らしい。文中の「浮世絵そのものの美しさは現代においても色褪せず、いつまでも新しいものとして後世に伝えていきたい芸術のひとつである。」といったコメントに、豊かな学習成果が現れていました。

レポートの提出※2

課題1のレポートに合格したら、次の課題に取り組み、同様にレポートを作成し、提出します。

- 添削指導、レポート返却
- 合格（不合格の場合はレポート再提出）

※2) 課題1をWeb提出した場合は、課題2もWeb提出となります。



科目試験

課題2に合格すると、科目試験の受験資格を得られます。申込手続きを行い、試験に合格すれば、通信授業2単位の単位習得となります。

- 合格（不合格の場合は別の科目試験日に再受験可）

※科目試験は年6回、全国10会場で実施

単位修得

2

学 習 の 流 れ
面接授業の科目例

学科別専門科目

絵画表現基礎ⅠB [面接授業 2 単位]

静物画、絵画表現の
基礎に取り組む。

絵画表現コースの学科別専門科目「絵画表現基礎ⅠB」は6日間の面接授業（スクーリング）を通して、静物を対象にした絵画制作に取り組みます。植物、食物といった自然形態と、器物、布などを組み合わせた静物は、ものの見方や造形の考え方を学ぶ上で最も基礎的な内容を持ちながら普遍的でもある題材です。前半はクロッキーやデッサンを行いながら、構図や構成、対象相互の関係、形態や色彩などを追求し、後半の絵画制作に繋げるための取材（エスキース）を行います。後半は実際に絵具を使いながらそれぞれの表現を追求していきますが、ここでは絵具を使う楽しさと同時に奥深さを知ることが目的となります。教員から直接指導が受けられるほか、受講生のさまざまな作品に触れることは、その後の作品制作にも生かされる豊かな経験となるでしょう。

受講申し込み

スクーリングを受講するには、該当科目のスクーリング申込期間内に受講申込と受講料の納入を行います。受講条件を満たした場合は、「スクーリング持参物」の冊子を参照して持参する道具を準備し、開講場所と期間を確認してスクーリングに臨みましょう。

前半課題

「エスキース研究」

スクーリング前半の課題は、自由な素材を使ったクロッキーやデッサンで本制作に繋がるエスキースの制作をします。初日は前提講義から始まり、3日目まで各々で課題制作を行います。制作をしながら詳細なアドバイスを受けることができるのも、面接授業ならではの長特です。



「静物をモチーフとしたデッサン」

採点・講評

3日目の午後は講評を行います。形態や空間、明暗や色彩、構図や構成など、後半に繋がるそれぞれの方向性を決めていくことが目標になります。

自分の作品だけでなく、受講生のさまざまな作品に触れることで、見方や捉え方、考え方や感じ方をより豊かに学ぶことができます。

後半課題

「 絵画制作 」

スクーリングの後半3日間は前半で制作したエスキースを基に、油絵具やアクリル絵具などを使用した本制作に取り組みます。絵画における絵具の物質的な効果を実感しながら描くことで、その表現の幅を学びます。



採点・講評

スクーリングでは、限られた時間の中で集中して制作し、作品を完成させなければなりません。最終日の6日目は午前中まで引き続き制作を行い、午後は全員の作品を並べ、採点と講評を行います。

●合格（不合格の場合は再受講）



「静物」
15号～20号キャンパスに着彩制作

単位修得

3

学 習 の 流 れ
面接授業の科目例

造形総合科目

デザイン基礎ⅠB [面接授業 2 単位]

課題を通して、
視覚表現ならではの
伝達方法を学ぶ。

デザイン系の面接授業（スクーリング）の例として取り上げる「デザイン基礎ⅠB」は、グラフィックデザインをコミュニケーションのための有効な手段としてとらえ、さまざまな手法を通して、その具体的な方法を学ぶ科目です。表現の仕方だけでなく、それがどのように伝わるかを検証しながらグラフィックデザインの基礎を学びます。スクーリングは受講生それぞれの個性、ものの見方や表現の多様性を知り、自分の作品を見直す機会でもあります。アイデアやコンセプトを形や色、構成といった要素にどのように展開していくか、徹底して考える4日間になるはずで

受講申し込み

スクーリングを受講するには、該当科目のスクーリング申込期間内に受講申込と受講料の納入を行います。受講条件を満たした場合は、「スクーリング持参物」の冊子を参照して持参する道具を準備し、開講場所と期間を確認してスクーリングに臨みましょう。



前半課題

「ピクトグラム」の制作

スクーリング前半の課題はピクトグラム。「歩く・走る・跳ぶ」といった人間の動きをピクトグラム化していきます。初日は全員が集まって前提講義ののち、グループに分かれてグループワークに取り組みます。制作では、クイックピクトという独自のツールを使って、それぞれのピクトグラムを完成させていきます。



前提講義でのグループワーク。意見を出し合いながら、ことばによる伝達と視覚的な伝達の違いを理解する



ラフスケッチの中から本作品へと進めるスケッチを選び、クイックピクトで制作する



前提講義後、ユニットパターンを使ってラフスケッチの制作

採点・講評

シンプルなパーツの組み合わせで、躍動する動きの特徴が掴めているか。講評ではさまざまな受講生の作品を見比べることで、少しの違いでも伝わり方が変わってくるのが分かるはずです。



「ピクトグラム」

指定されたパーツをアレンジして、「歩く」「走る」「跳ぶ」といった人間の動きを図形化することにより、視覚伝達の基本を学ぶ

オンラインプラスの活用

「デザイン基礎ⅠB」のスクリーングでは、オンラインプラスを併用します。オンラインプラスは自由な時間に

Webで視聴できるコンテンツで、スクリーングの予習として活用することで学習効果を高めることができま

す。後半の課題に取り組む前に、課題の事前説明動画を視聴しておきます。

後半課題

「コンピュータ表現」蝶課題の制作

スクリーング後半は、アイデアを画像にするという課題を通して、コンピュータによる表現を学習します。この課題では、身の回りで見られる出来事や事柄を収集、分析し、特定の視覚形態である「蝶」に置き直し、その形態に意味を重ね合わせた視覚表現として作品化。アイデアを発想、展開するプロセスを学びます。

「コンピュータ表現」(蝶課題)

素材を取り込んだり、練り上げたアイデアを基に Photoshop や Illustrator などのアプリケーションを使って作品を仕上げていく



採点・講評

スクリーングの最終日には講評を行います。この課題では、アイデアの意図が色・形・構成から伝わるかどうか。そして、それが美しく表現できている

かどうか重要です。他の受講生の作品にも触れながら、情報の伝わり方や表現の多様性について考え、次の制作へと生かしていきましょう。

●合格 (不合格の場合は再受講)

単位修得

4

学 習 の 流 れ
メディア授業 [オンデマンド] の科目例

文化総合科目
カメラリテラシー [メディア授業 1 単位]

オンラインによる授業で
身近なカメラについての
正しい知識を得る。

写真はデザイン系の学生に限らず、画像に記録することや資料として提示するなど、さまざまな局面で求められることがあります。文化総合科目の「カメラリテラシー」では、表現としての写真技法ではなく、カメラやレンズの基礎的な知識や構造、特性、使い方などを中心に学びます。なお、メディア授業はオンラインを活用するため、インターネットに接続できる環境にあることが履修条件となります。

履修登録から動画視聴まで

履修登録を済ませ、受講申込をした
ら、面接授業（スクーリング）と同様
に、受講料を納入します。
そして開講期間になると、講義動画の
視聴が可能になります。



動 画 視 聴

第 1 章「カメラを選ぶ」を学ぶ

メディア授業 [オンデマンド] の基本
的な学び方は「動画視聴」です。Web
キャンパスにアクセスして動画を視
聴しながら学習を進めていきます。1
章は約 60 分で構成されており、概ね
15分程度の動画を順番に視聴します。
第 1 章では、この科目の学習目的と、基
本となるカメラの特性について学び
ます。

動画視聴のイメージ。「カメラリテ
ラシー」では、カメラと写真の技術
的な知識を詳しく解説していく

■ カメラリテラシー授業の流れ

- 1章 カメラを選ぶ(はじめに・良い写真を写すには・カメラ選び)
- 2章 露出の原理と映像効果
- 3章 露出を操る
- 4章 レンズの役割とオートフォーカスの活用
- 5章 絵づくりと色彩の設定
- 6章 デジタルカメラの基本
- 7章 デジタルイメージング概論1(RAW現像・カラーマネージメント)
- 8章 デジタルイメージング概論2(フォトレタッチ基本・修了テストについて)

1-1



学習チェック

第1章の動画視聴が終わったら、章ごとに設けられている「学習チェック」を受験します。択一式の理解度チェックで、正答できるまで繰り返し受験します。

合格基準を満たすと、次の章の動画が視聴可能になります。



学習チェックは択一式の選択問題。動画の内容を十分に理解できているかを確認する

ネットフォーラムの活用

メディア授業[オンデマンド]では、教員への質問や、学生同士の意見交換の場として「ネットフォーラム (BBS)」が設けられています。学習開始から、単位を修得するまで随時利用することができます。



学習を進めていく中で疑問がある場合は、ネットフォーラムを積極的に活用し、内容をきちんと理解することが重要

動画視聴・学習チェック

第2章から第8章まで

第1章の学習と同様に、第2～8章まで各章の動画視聴と学習チェックに取り組み、学習を進めます。

「カメラリテラシー」では8つの章を通して、カメラと写真表現の基礎となる技術的な知識を段階的に身につけていきます。

各章の構成

- | | |
|-----------------------|--|
| 1章 カメラを選ぶ | 5章 絵づくりと色彩の設定 |
| 2章 露出の原理と映像効果 | 6章 デジタルカメラの基本 |
| 3章 露出を操る | 7章 デジタルイメージング概論1 (RAW現像/カラーマネジメント) |
| 4章 レンズの役割とオートフォーカスの活用 | 8章 デジタルイメージング概論2 (フォトレタッチ基本/修了テストについて) |

修了テスト

全ての章の動画視聴と学習チェックを終了すると「修了テスト」の受験資格を得られます。申込手続を行い、修了

テストに合格すれば、メディア授業1単位分の単位修得となります。 ※通信障害等のリスクを回避するた

め、修了テストは有線のパソコン環境での受験をお願いしています。

●合格 (不合格の場合は別の修了テスト期間内に再受験可 ※修了テストは前期3回、後期3回、計年6回実施でどれか1回合格すればよい)

単位修得

在学生の声
VOICE
3

こんな科目、こんな課題。
実際に取り組んだエピソードを
教えてください

新たな学びを身につけるのは楽しく、時に難しくもあります。まさに今、課題に取り組む学生たちに、リアルな学びのエピソードを教えてくださいました。

美術を本格的に学ぶのはムサビ通信が初めてです。「美術入門」や「デザイン入門」をはじめ、基礎的な科目はどれも美術に対する見方や考え方を知ることができ、その後の制作の大きな力になっています。

(絵画表現コース 23歳 東京都)

「生涯学習概論」は博物館や美術館などの社会教育機関による、市民への学習貢献について学びます。さまざまな地域に溶け込んで発展していく美術や展示があることを知り、人々の営みと芸術のつながりを感じました。

(芸術研究コース 53歳 東京都)

「映像文化論」で、自身の体験をもとに「写真とは何か」を考える課題がありました。いつも写真を撮るときに何を意識しているのか、自分にとって写真はどのような存在なのかを改めて考えるいい機会になりました。

(デザイン総合コース 22歳 石川県)

「日本画材料学」では古来からの日本画の材料について学びます。地元でも日本画の材料が作られていることを知って驚きました。

(日本画表現コース 59歳 神奈川県)

「芸術研究リサーチ」の課題で、イサム・ノグチの年譜と文献目録を作成。取り組んでいる間は人生でこれまでにないほど図書館に通い続けました。提出したときの達成感がすごかった！

(芸術研究コース 47歳 東京都)

体の動きをピクトグラムにする「デザイン基礎ⅠB」のグループワーク。できあがりには単純に見えますが、姿勢や動作の瞬間を表すのは難しく、リサーチの重要性を痛感しました。

(デザイン総合コース 27歳 東京都)

「造形基礎Ⅰ」の課題では、記憶の中のワンシーンを描いたり、自分の身体よりも大きな紙にドローイングしたりしました。今まで試したことのない手法が面白くて、もっと描くことを楽しもうと思うきっかけになりました。

(日本画表現コース 22歳 東京都)

「気になる人」を描く課題に取り組んだ「絵画表現ⅢA」。苦手な人物画、自分でも少し納得いかないまま提出したら再提出になりました。そういうのって伝わるものなんですね。

(絵画表現コース 54歳 神奈川県)

もともと理工学を研究していて、歴史が苦手でした。「西洋美術史Ⅰ・Ⅱ」で基礎から勉強し直し、歴史を学ぶ楽しさを味わっています。こんなに美術史って面白いんだ！

(芸術研究コース 41歳 東京都)



教 職 課 程

専門領域に対する
高度な知識、技能、感性を備えた
「美術」および「工芸」の教員を養成。

学校教育に携わる教員を目指す学生に向けて用意されているのが教職課程です。履修条件を満たした上で、2年次以降に登録手続きを行い、必要な単位を修得することにより、「美術」「工芸」の教員免許状を取得することができます。現職教員が2種免許状から1種免許状へ上進したり、他教科の免許状を取得するための科目等履修生制度もあります。

教 職 に 関 する 科 目

通…通信授業 / 面…面接授業

★は科目試験を実施する授業科目

- ★ 美術教育法Ⅰ…通 2単位
- 美術教育法Ⅱ…通 1単位・面 1単位
- ★ 美術教育法Ⅲ…通 2単位
- 美術教育法Ⅳ…通 1単位・面 1単位
- ★ 工芸教育法Ⅰ…通 2単位
- 工芸教育法Ⅱ…通 1単位・面 1単位
- ★ 教育原理Ⅰ…通 2単位
- ★ 教師論…通 2単位
- ★ 教育原理Ⅱ…通 2単位
- ★ 教育心理学…通 2単位
- ★ 特別支援教育…通 2単位
- ★ 道德教育の理論と方法…通 2単位
- ★ 総合的な学習の時間の指導法…通 2単位
- ★ 特別活動の理論と方法…通 2単位
- 教育方法 (ICT活用を含む)…通 1単位・面 1単位
- ★ 生活指導の理論と方法…通 2単位
- ★ 教育相談論…通 2単位
- 教育実習Ⅰ…面 2単位
- 教育実習Ⅱ…面 2単位
- 教育実践の理論と方法…面 1単位
- 教職実践演習 (中・高)…通 1・面 1単位
- 介護等体験…通 1単位・面 1単位

取得可能な教員免許状

油絵学科
芸術文化学科

- ◆ 中学校教諭 1種免許状 (美術)
- ◆ 高等学校教諭 1種免許状 (美術)
- ◆ 高等学校教諭 1種免許状 (工芸)

*この他に、定められた授業科目の単位を修得する必要があります。

*編入学生の場合は、すでに取得している免許状や単位などによって修得すべき単位数が大きく異なります。入学後 Webキャンパスの『教職課程ガイドブック(PDF)』で確認してください。なお、本学の教職課程は2年次から卒業までの3年間のカリキュラムとなっています。したがって、3年次編入の場合、2年間で免許状を取得することは困難です。詳細は「募集要項」を参照してください。

*ムサビ通信の卒業に必要な単位は124単位ですが、「教職に関する科目」は30単位を上限として、この卒業所要単位に含めることができます。

学芸員課程

博物館・美術館の 学芸員資格を得るための 理論と実践に基づいた学習。

学芸員とは、博物館や美術館におかれる専門的職員です。博物館資料や作品の収集、保存、展示をはじめ、教育普及活動など関連した業務に広く携わることもあります。ムサビ通信の学生は、3年次に学芸員課程の履修登録手続きを行い、必要な科目を履修することにより、学芸員資格を取得することができます。

博物館に関する科目

通…通信授業 / 面…面接授業

生涯学習概論…通1単位・面1単位

ミュゼオロジーⅠ…通1単位・面1単位

ミュゼオロジーⅡ…通4単位

博物館資料保存論…通2単位

博物館展示論…通2単位

博物館教育論…通2単位

メディア論…通2単位

博物館実習…通1単位・面2単位

*この他に、定められた授業科目の単位を修得する必要があります。

*学芸員課程の授業科目の多くは、芸術文化学科の学科別専門科目です。このため、同学科以外の学生が履修する際には、所属する学科・コースの面接

授業日程と重なるなど、2年間の学習では単位修得が難しい場合があります。入学後 Webキャンパスの『学芸員課程履修ガイドブック(PDF)』で確認してください。





ムサビ通信でふれる
美大ならではの学び



左から、荻原剛教授、関口雅文教授、足立圭准教授

油絵学科
絵画表現コース

関口 雅文 教授

デザイン情報学科
デザイン総合コース

荻原 剛 教授

芸術文化学科
芸術研究コース

足立 圭 准教授

実際に入学してみるまで、なかなか大学の雰囲気は掴みにくいもの。ムサビ通信の学びが自分に合っているのか、どのように取り組んでいったらいいのか、まだ不安に思っている人もいるかもしれません。そこで各学科から3人の先生に集まっていただき、コースごとのカリキュラムの特徴や、学生との関わり、先生方の思いについてお話をうかがいました。

——今日は各コースから、学2課程で教授・准教授に就任された先生方に集まっていただきました。ムサビ通信での学びについてそれぞれの視点から思うことや、学生たちとのコミュニケーションなどについて幅広くうかがっていきたいと思います。

**伝統的な技法、
多様な表現への挑戦**

——まずはムサビ通信での学びについて、カリキュラムや各コースの特徴を聞かせてもらえますか？

関口雅文先生 全体としては、初学者でも今までしっかり美術を勉強されてきた方でも、いろいろな人が学びやすいカリキュラムになっていると思います。絵画について言えば、作品の良し悪しを上手下手で評価しているわけではない、というあたりに特徴があるかもしれません。

油絵学科は、絵画表現コースと日本画表現コースに分かれています。日本画表現コースは、岩絵具という天然の鉱石を砕いた顔料を、動物の骨や皮を煮て作る膠（にかわ）と混ぜて絵の具を作るところから取り組む、日本画の専門的な技術や技法を学んで表現していくコースです。

私が担当している絵画表現コースは、油絵を中心としながらも、近年は

水溶性のアクリル絵具で制作する人も多いですし、他にもコラージュなど幅広い表現に対応しています。

——スクーリングで皆さん集まって描かれている姿が印象的です。

関口 スクーリングでは人物やヌードなど、自宅で取り組むのが難しいモチーフの課題も多く取り入れていきますね。造形総合科目では銅版や木版、リトグラフといった版表現だったり、テンペラ・フレスコ・モザイク・ステンドグラスといった古典技法を学ぶ科目もあります。あと絵画表現コースの複合的表現では、立体やインスタレーションも扱いますし、非常に幅広い内容に挑戦できる。いろいろな人が楽しめるカリキュラムになっていると思います。

——そうですね。履修の自由度が高く、さまざまな表現にチャレンジできるのは、ムサビ通信ならではの特徵だと思います。

作品はその人の人生を反映して 出来上がっていくもの。 大学でいろいろな人と関わってほしい

油絵学科 絵画表現コース 関口雅文教授

横断的に学び、 新しい地平を開く

— デザイン総合コースはどうでしょうか。

荻原剛先生 カリキュラムについて話す前に、今のデザインを取り巻く状況をお話すると、2010年頃からデザイナーという職業に求められる仕事の内容が大きく変わってきているんですね。例えば以前はプロダクトデザインをしていたら、そのプロダクトのことだけを考えていればよかったけれど、今はそれがアプリケーションとつながりますし、グラフィックデザインをやりながら Web のことも考えなければいけないとか、この 10年、15年で急激に変わってきたと思います。

そういった背景の中で、デザイン総合コースはこれからデザインに取り組む方々が新しい地平を開いていくために、デザインの「考え方」自体を学び、向き合っていけるような場にしていきたいと考えています。

— かつてはデザインの分野別に分かれていたコースが一つのコースに集約されたのも、より横断的な学びが求められる時代に合わせたことかなと思います。ちなみに学科別専門科目では、情報形成・環境形成・社会形成というテーマに分かれていますね。それぞれの違いを教えてくださいませんか？

荻原 カリキュラムの骨格として、自分にとってデザインとは何か、社会に貢献できるデザインとは何かを考えていく、デザイン総合研究という柱があります。

しかし、いきなりそれを掴むのは難しいので、ビジュアル・コミュニケーションを中心とした情報形成デザインや、プロダクトや空間を扱う環境形成デザイン。社会や地域との関わりをデザインしていく社会形成デザインという、専門性が高い領域の中で学びながら、自分のデザインを研究していく。そんなふうと考えてもらえるといいのではないかなと思います。

— なるほど。自分のデザインを見つけるための専門科目、ということなのですね。

芸術への興味を深め、 客観的に伝える

— 芸術研究コースは、芸術文化を客観的に捉え、その認識の成り立ちを学ぶコースです。学芸員を目指す方も多いですね。

足立圭先生 はい。ムサビ通信の場合は美大の中の芸術研究コースなので、履修の仕方によっては、制作に用いる素材に自分で触り、手を動かしながら、それらがどのように作品に展開されていくかを直に学べます。これから扱おうとしている芸術というものは、こうやってできているんだ、という成り立ちを学んでいけるところが、一般の大学と違う点で、一番の利点なのかなと思っています。

専門科目に入っていくと、まずは研究のための資料を集め、その活用方法を学ぶ芸術研究リサーチ。次の段階として、集めた情報を整理してテーマに発展させていく芸術研究コンセプト。それを言葉に置き換えていくための芸術研究ライティングというように、必要なステップが組みまわっていますので、必修科目を学んでいけば自然に研究を客観的に伝えるためのスキルが身についていくようになっています。

— 年次を重ねるごとに、必要な技術が段階的に身についていくイメージなんですね。

足立 はい。自分なりの問題意識の持ち方とか、良い問いを見つける訓練を積み上げていくカリキュラムだと思います。



多様な人々が 共に学ぶ環境

——今回、この数年で新たに就任された先生方にお集まりいただいたので聞いてみたいのですが、ムサビ通信の学生たちと接するようになって、どのような印象を持たれましたか？

関口 これはどのコースでもそうだと思いますが、熱量の高い学生が多いですね。働きながら学んだり、自分で学費を工面している人も多いので、自ら学びに来ているという意欲がとても強いと感じます。

荻原 スクーリングを見ていると、若い学生が作品作りで押し潰されそうになっているのを年配の方が励ましていたり、逆にデジタルツールは若い人の方が詳しいので、それを社会人の学生が横で見ながら刺激を受けているとか、とてもバランスがいい状態だと思います。世代が分断されているわけでもなく、お互いに刺激を与えているというか。

——さまざまな年齢の人が一緒に学んでいるのは、通信ならではの環境ですね。学生に話を聞くと、一人でずっと通信課題に取り組んでいると悩んでしまうため、スクーリングで周りの人に相談しているという声を耳にします。

関口 何十歳も年齢の離れた学生が、一緒に学んでいますからね。年齢の幅があることで、お互いにないものを補い合えるというところは、通学の大学とは大きく違うところだと思います。—— 絵画・日本画やデザインの場合、表現すること、技術や考え方を身につけるこ

とを目指している学生が多いように思いますが、芸術研究コースはどんな目的で学びに来る人が多いのでしょうか？

足立 もともと美術がお好きで、その魅力を客観的に誰かに伝えたいという意欲を持った人が多いのかなと思います。具体的には、美術館でボランティア活動をしていたり、ギャラリーの仕事やアートの普及活動など、何らかの形で芸術に関わっている人が、大学で学び直してみようという意志を持って入学されている印象ですね。

他にも鑑賞者としてよく美術館へ行っています、という方もいて、美大で学ぶことでよりいっそう鑑賞への意識が深まるとか、そういったことに学習の成果を使っておられる方もたくさんいます。

身になるより良い 学びのために

——そうした学生の皆さんにより良い学びを提供するために、教える側として気を配っていることなどはあるのでしょうか。

関口 学生から質問を受けたときに、ヒントは出しますが、あまり答えすぎないようにしています。やっぱり全て先生が言った通りにやるというのは美術的ではないと思っているので、方法の提案やアイデアの種を渡して、水をやるくらいまでは手助けするんで

すけども、それを育てるのは学生本人がやっていく。どのように花開いていくか、その成果が見られるのを楽しみに授業に臨んでいます。

荻原 僕は、デザインというのは「考える力」だというふうに定義していません。かつてデザイナーを名乗るには、ある程度のハンドスキルが必須条件でした。しかし、デザイナーに求められるものが変わってきたこと、通信課程の限られた時間で学んでいくことを踏まえ、授業内容は必ずしも高度なハンドスキルを必要としない、考える力を養う内容にシフトしています。

一方でハンドスキルってすごく大事で、手を動かすことによって考える力が伸びてくる、表裏一体でもあります。授業でやることは少ないですが、絶対学んでくださいねとは伝えています。

大きな変化の中で
これから新しい地平を開いていけるような、
「考える力」を身につける場に

デザイン情報学科 デザイン総合コース 荻原剛教授



良い問いを探し続けること。 本当に興味のあるテーマを見つけて 研究を深めてもらいたい

芸術文化学科 芸術研究コース 足立圭准教授



これからムサビ通信で 学ぶ人たちへ

——最後に、学生にムサビ通信での学びでどのようなものを得てほしいか、先生方それぞれの想いを聞かせてください。

関口 作品は、その人が生きてきたバックボーンを反映して出来上がっていくものです。大学というたくさんの人が集まってくる場で、スクーリングを通じていろいろな人と深く関わってほしいなと思いますし、卒業後もグループ展をやってみたり、お互いの展示を見に行くなどして、お互いに刺激を受けるような機会につなげていってほしいですね。

結果を求めて、早く賞を取りたいとか、自分のスタイルを固めたい気持ちも分かりますが、焦らないで地道に、自分のやりたいことをじっくり時間をかけて育てていくような、そんな経験をしてほしいなと思っています。

足立 一般の大学では、美術史のゼミに入ると、そのゼミが対象としているテーマの中で研究を進めなくてはならない場合もあるんです。けれど、ムサビ通信では、本当に自分の興味のあるテーマを見つけてもらうことを大事にしています。それは仕事や生活を通して今まで関わってきたことでもいいし、新たに取り組むことでもいい。こちら側からは、そのテーマに対して、更にこういう資料が必要じゃないかとか、先行研究と照らして自分なりの論点を見つけてもらうとか、論文の組み立て方など、技術面でサポートすることを心がけています。

荻原 「そこに答えがない」ことを当たり前だと思う、ということですかね。近年はインターネットでサーチするとか、知りたいことを探して見つけるという考え方が支配的になっていますが、例えば生活している中で「これは面白いかも」と思うものを見つける。その「見つける」の方法は、たぶん誰も教えてくれないし、まだ答えがないものを自分で探す、ということを当たり前のものとしてほしいなと思っています。

足立 好奇心を持って、良い問いを探し続けることに挑戦してほしいですね。またスクーリングの講評では、各々が自分の作品をプレゼンテーションする機会があります。そこでは制作にかけてきた時間や熱量が一目瞭然になります。複数の他者の批評的な視点を受け止め、他者との比較を通して自身を相対化することで、制作や研究へのさらなる意欲を醸成する場になっているように思います。自分の視点と、少し離れてみた俯瞰的な視点を行き来しながら、横断的に考えていく力を身につけていただきたいと思っています。

美術教員

佐藤 円さん

2023年度卒業
絵画表現コース

高校卒業後、2020年に油絵学科 絵画表現コースに入学。2年次より教職課程を履修し、2024年3月に卒業。現在は千葉県公立高等学校で美術教員として勤務。「美術を通じた人との触れ合いが、生徒はもちろん、自身の視野を広げるきっかけとなる」という思いのもと、創造力を育む教育に携わり、共に創造を続けることを目指している。



ムサビ通信を選んだのは、教職課程があること 授業科目が豊富なことも決め手になりました

美術教員になりたいという思いを持って、ムサビ通信の扉を叩いた佐藤円さん。高校卒業後に絵画表現コースへ入学し、働きながら学習に取り組み、教職課程も含めて4年間で卒業を成し遂げました。日々、忙しく過ごす中でどのように学習を進めていったのか、目標に向かって邁進した4年間について、詳しくお話をうかがいました。

— はじめに、今の佐藤さんについて聞かせてください。この春に卒業されて、現在はどのようなお仕事をされていますか？

佐藤 はい。千葉県の公立高等学校で、臨時的任用教員として美術を教えています。

— 美術の先生、ということですね。資格を持っていても狭き門だと思うのですが、どのように就職されたのでしょうか。

佐藤 私の場合は運命的にというか、私自身も千葉の高校に通っていて、そのときに教わっていた恩師が紹介してくださったんです。そこからスムーズにお話が決まっていきました。ムサビ通信のことを教えてくれたのもその先生でした。

美術教員を目指してムサビ通信へ

— 佐藤さんは高校卒業からすぐに、ムサビ通信に入学されたと聞いています。他の大学への進学なども検討されましたか？

佐藤 はい。もとは通学の4年制大学も受験していました。教員を目指していたので、教育学部の美術専攻や、美大も受けていたのですが、ちょうどコロナ禍に入って遠方で暮らすことの不安もあり、経済的な面でも通信課程の方が自分に合っているなど。

ムサビ通信を選んだ理由は、一番は教職課程があること。あとは授業科目が豊富なことです。自分はそれまで油絵しか描いてこなかったのですが、専攻の他にもいろんな科目に触れられるの

は、教員になったときにきっと役に立つだろうと思いました。

— 入学前から、教職への強い意思があったのですか。教員になりたいと思ったきっかけは？

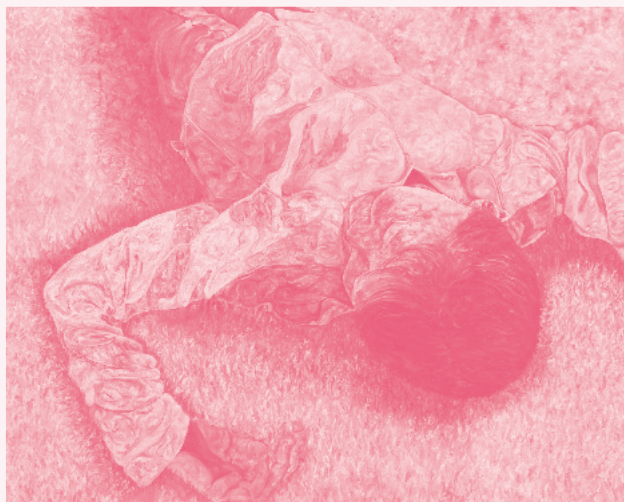
佐藤 私の地元は千葉県旭市という、県内で唯一、東日本大地震のときに津波の被害を受けたところでした。高校2年生のとき、卒業生であるアーティストの鈴木蘭菜さんを中心に、地域の方と一緒に防潮堤壁画を描くイベントに参加したんです。

学校の授業だけでは、そんなふうに関わる機会って、ほぼありませんよね。そのとき、美術の先生なら、学生と地域との関わりを作ってあげられるのではと思います、教員を目指すようになりました。

計画を立てて、集中して学ぶ

— 入学してからの学び方についても聞かせてください。どのように学習計画を立てていましたか？

佐藤 例えば文化総合科目だと通信授業の多くは科目試験があり、それまでにたいていは課題を2つ提出しないとダメです。年間の計画を立てるときに、まず何月の科目試験を受けるかを決めて、それまでに同時並行で複数の課題を進めていました。でも、途中で



課題が不合格になることもあって、そうするとモチベーションが下がってしまいます。月に1回はスクーリングに通っていたので、仲良くなった人にアドバイスをもらったりとか、交流を通してやる気を出していました。

私は1,2年次のときはあまりしっかり取り組んでいなかったんですけど、3年次になると他の大学に通っている友達が就活を始めたりとか、周りからのプレッシャーも感じながら「やらなきゃ」って自分を奮い立たせていましたね。

— 佐藤さんは日中働きながら学習されていたのですよね。時間を作るのに苦労されたのでは。

佐藤 当時はアルバイトを掛け持ちしていました。

スクーリングの日は、もうスクーリングしかやりません。春期から冬期まで、どの時期にも履修していましたが、夏期しか開講しないスクーリングもあるので、年間スケジュールを決める段階で計画を立てておいて、勤め先に相談していました。

他の課題は毎日仕事をして帰ってからやっていたのですが、それじゃ進まないなと気づいて、週に1回は図書館に行く日をつくるようにしました。朝から本を読み漁って、その日のうちにレポートを2つまとめたり……。少しずつレポートを進めるのが性に合っていないくて、提出期限や試験の日を全部手帳にメモして、いつやるか決めて取り組んでいました。図書館は集中できるのでよかったですね。

“真面目”の殻を破る挑戦

— とくに印象に残っている科目や課題はありますか？

佐藤 卒業制作につながる画風というか、描き方を発見できたのが、専門科目の絵画表現でした。スクーリングで2人の女性をモチーフに描く課題だったのですが、これまで通りに描いてい



佐藤さんの卒業制作「和み」。2人の友人それぞれの休息を、生き生きとした力強い筆致で描いた。課題や仕事に休みなく取り組む中で、制作しながら自身を休めることができるテーマになったとのこと（P50「卒業制作 作品集」にもカラーで掲載）。

生徒が卒業制作に興味を示してくれて 自分は頑張ってきたんだと今でも実感できます



描きました。一人は愛犬と戯れる時間だったり、もう一人は部活で走り切って芝生に寝っ転がる瞬間だったり。心休まる時間って本当に人それぞれで、じゃあ私にとっての休息ってどんなときなんだろうと考えながら描いていました。

——色鮮やかで、とても大きな作品ですよね。

佐藤 はい、100号のキャンバス2枚です。

高校の美術って、主要教科と比べると生徒にとっては手を抜きがちな教科ですけど、「大学でこういうの描いてきたよ」と卒業制作を見せると「おおっ」と興味を持ってくれるのが分かって、自分は頑張ってきたんだというのを今でも実感することができます。部活動の顧問もしているんですが、美術部に入ってきた1年生に「どんな絵を描いていきたい？」と聞いたら「先生みたいに大きな絵を描きたい」と言ってくれて、それはすごく嬉しかったです。

美術を教える視点からの学び

——最後に、教職課程で教員免許状の取得を目指す上で、大変だったことなどはあ

たら絵がつまらなくて、どうしたら面白くなるんだろうと悩んでいました。その授業を担当していた先生がすごく自由な方で、アドバイスをいただきながら「こんなに弾けちゃってもいいんだ」という描き方ができて、あるものを描くだけが全てじゃないんだなと思えたのが、とても大きかったです。

それまでは静物画とか、受験のために描くようなものしか描いてこなくて、飽きてしまったというか。でも他のやり方が分からなかったんです。先生たちからの講評も「真面目だね」と言われることが多くて、普通はいいことかもしれないけど、絵を見て真面目だねって、褒められてないなと(笑)。真面目じゃない子になろう、といういろいろな表現をやってみました。

——その成果が生かされた、卒業制作についてもぜひ聞かせてください。

佐藤 それぞれの“休息”を取る時間の違いをテーマにして、2人の友人を

りますか？

佐藤 大変だったのは科目試験ですね。それまで教育の視点で美術を学んだことがなかったので、表現を伝える・教えるということは楽しく学べました。けど、試験になると難しいなっていうのが、大変でもあり、楽しかった部分でもあります。

あとは教職課程に進むと、すでに他の教科で教員として働いている人が、科目等履修生で美術・工芸の資格を取るために受講していたりもします。「数学の先生はこういうふうに考えるんだ」とか、違う視点から美術について聞く機会もあり、いろんな考え方を学ぶ経験になりました。

教育実習先も自分で探して、母校で実施することができました。本当に人に恵まれているなと思います。

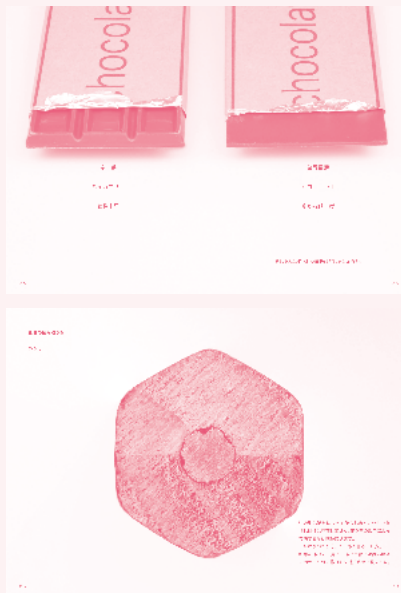
——まだ先生の道は始まったばかりだと思いますが、佐藤さんに学んだ学生たちが、より美術を楽しんでくれることを願っています。では、これからムサビ通信に入学する方々へ、助言となるようなメッセージをいただいてもいいでしょうか。

佐藤 卒業には何よりもモチベーションが大事だと思います。私が入学した年は、コロナ禍でスクーリングがなくなったりして、大学の人たちと交流する機会がなくて苦労しました。SNSでムサビ通信で学んでいる人を見つけ、その人が毎週のように課題を進めているのを見ながら自分も頑張ったり。やっぱり気持ちの面で、スクーリングに行くのはおすすめです。他の人の作品に触れるのも、学習を続けるモチベーションになっていくのかなと思います。

エンジニア

伊藤 達彦さん

デザイン総合コース
2023年度卒業



伊藤さんの卒業制作「都合の形」。物の形の分かり方(デザインの読み取り)について研究し、グラフィックと写真を交えた本を制作した。「テーマは比較的スムーズに決まりましたが、それを第三者に伝えるために、どのような作品にしたらよいかを考えるのに苦労しました」(伊藤)

大学なら体系的に学ぶことができ
長く使える考え方を身につけられそうだと
感じました

——伊藤さんは会社員として働きながら学んで卒業されたと聞いています。普段はどのような仕事をされているのでしょうか。

伊藤 センサー等を扱うメーカーで研究開発職として働いています。専門は機械工学の分野で、開発の仕事では機構や外装などを担当しています。外装や操作部(UI)をデザインすることがあるので、専門ではありませんが、デザイン系の仕事にも少し携わっています。

学習する時間の使い分け

——デザインを学べる環境は専門学校などもありますが、ムサビ通信のデザイン総合コースを選ばれた決め手は？

伊藤 入学案内に、特定のデザイン分野だけでなく横断的に、かつ「デザイン」のもととなる発想を学ぶ」とあり、自分の興味と一致したので選びました。大学ではものごとを体系的に学ぶことができるので、長く使える耐久

性のある考え方を身につけられそうだと感じたのも大きいです。

——通信教育課程は自分で時間を決めて学習を進めていくため、自由な一方で自律が求められる環境です。特に伊藤さんは働きながらの学習だったと思いますが、日頃どのように時間を作って取り組んでいますか？

伊藤 通勤や平日夜の短い時間と、長く時間が取れる休日を使い分けて学習を進めました。短く細切れになる時間は、学習指導書や教科書を読んで課題を把握したり、提出する作品のアイデアを考えるために使い、長く時間が取れるときにアイデアをまとめて作品の制作に取り組みました。

思うように進まないことも沢山ありましたが、新しいことに挑戦しているのだから仕方がないと思い、課題と向き合うのが嫌にならないように、楽しめるように気を付けていました。

ものの見方が増える楽しさ

——ムサビ通信を卒業してから、仕事や生活の中で変化したことはありますか？

伊藤 ものの見方が増えたと感じるのが、大きな収穫であり変化だと思いませんでしたが、伝え方や見せ方で気づく点が増えたことで、アウトプットの質が上がったのと、それらを考えるのがより楽しくなりました。生活の中では、街にあふれる何気なく見てきたデザインが、実はよく考えられていることに気づくことが増えました。

——最後に、ムサビ通信で学ぼうか迷っている人にアドバイスがあればぜひお願いします。

伊藤 合うか合わないかで迷われているのであれば、入学してみるのがいいと思います。合わなければ違う道に進んでもいいと思いますし、逆に学びが楽しすぎて、長く在籍している方もいます。自分に合った学びの形が取りやすいのがムサビ通信の良いところではないでしょうか。

美術館職員

中田 歩さん

2023年度卒業
芸術研究コース

——中田さんは3年次編入学をされて2年間で卒業し、学芸員資格も取得したと伺っています。入学する前はどのようなことをされていたか？

中田 学生時代は服飾造形を学び、アパレル業界で営業職とマーチャンダイジングの仕事に就きました。商品在庫を抱えた経験から「販売支援」をする側に興味を持ち、販売の後方支援であるキャンペーン事務局の運営や新製品開発などのマーケティングリサーチの仕事をしていました。

コロナ禍で拓けた美術への興味

——ムサビ通信に入学して、芸術研究コースで学んでみようと思ったきっかけは？

中田 新型コロナウイルスの影響で、生活や仕事について悩んだ人も多かったと思いますが、私もその一人です。外出自粛や在宅ワークなど制限を求められる日々が続き、ふと「美術館に行きたい」と思いました。当初は休館している施設ばかりでしたが、オンライン活動やバーチャル美術館など、新たな美術館の姿を目にして、さまざまな人がつながり、いろんな形に変化する「美術館」は面白い。次第に、美術館を主体とした芸術文化支援や教育普及活動に携わりたいと考えるようになり、美術を学ぼうと思いました。通学も検討

最も重要なのは「自分がやりたいこと」

自分の意思でやると決めた学習は

想像以上に楽しいです

美術館を新たな仕事の場に

——卒業後はどのように活動されていますか？ また、入学を検討している方々へのメッセージをいただきたいです。

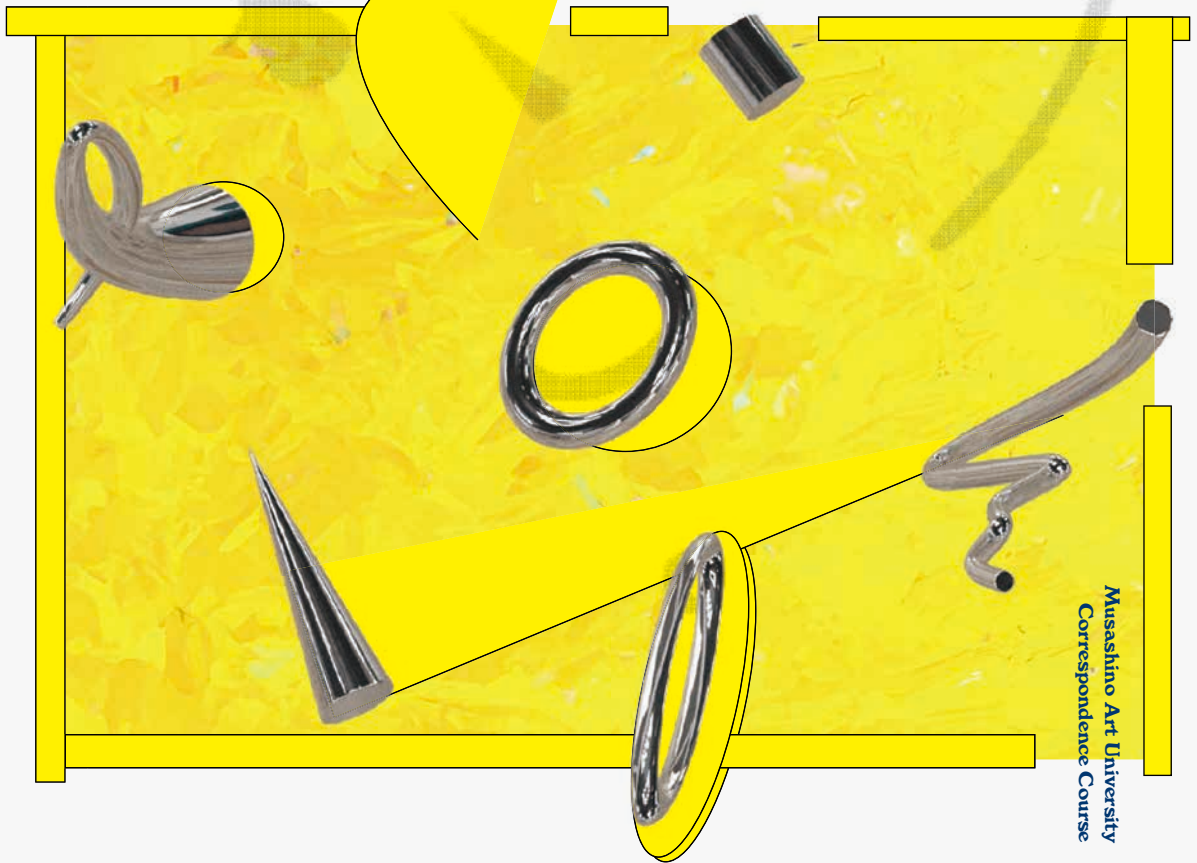
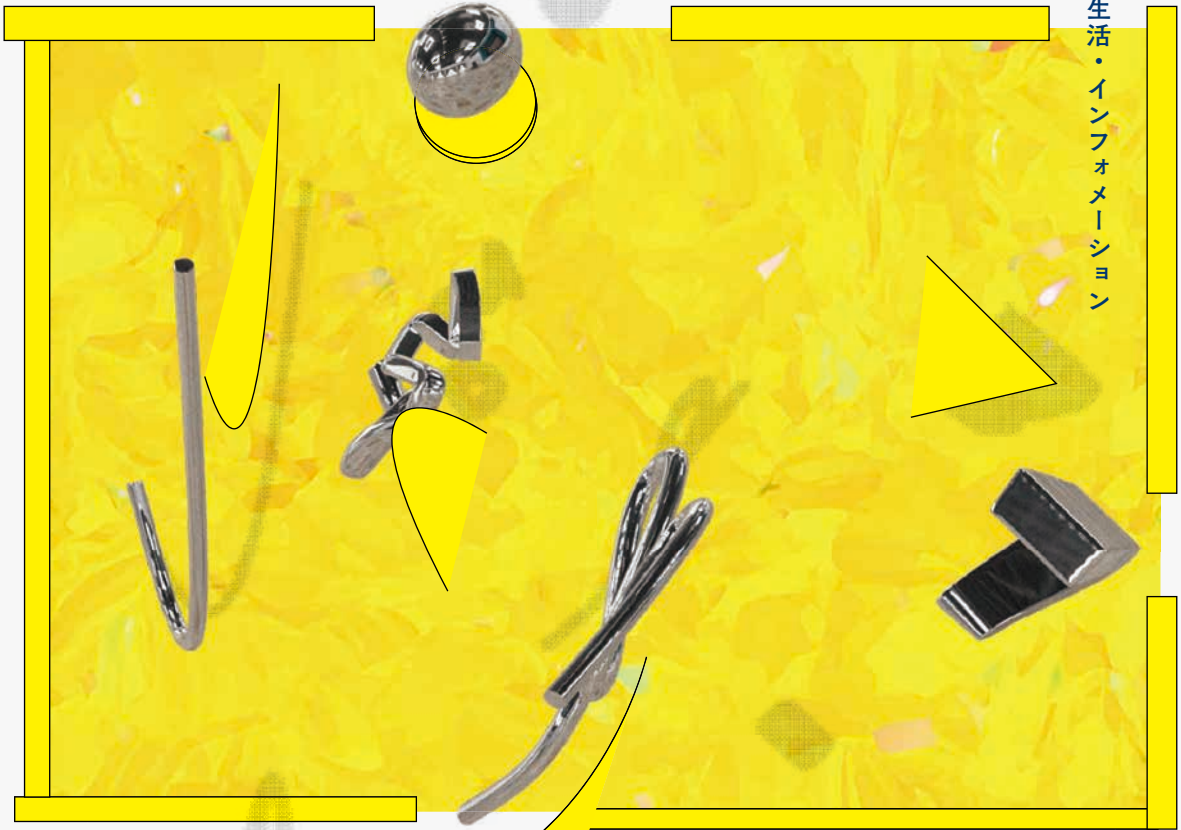
中田 今は美術館で働いています。学校行事で来館する子どもたちの楽しそうな姿を見たり、作品制作や展覧会の準備にいきいきと取り組む方たちと接する日々は濃密です。多くの方に、美術館を交流の場として活用いただけるように学びを役立てたいです。

通信教育の利点は自分のペースで学べることだとよく言われますが、「ペースを作る」のは簡単ではありません。学び続ける上で最も重要なのは「自分がやりたいこと」だと思います。社会人になってから自分の意思でやると決めた学習は想像以上に楽しいです。興味や好奇心を味方につけてトライしてみてください。



芸術研究コースの選択必修科目「博物館展示論」で、中田さんが取り組んだ課題の場面写真。私的コレクションを用いて展示企画と展示実施をするという課題に対して、造形作家の作品と自作を組み合わせ、「ミニチュアの世界」を覗いて楽しむ極小の展覧会を立案し制作した。





学生生活／学生支援体制

学習サポート

学習会活動

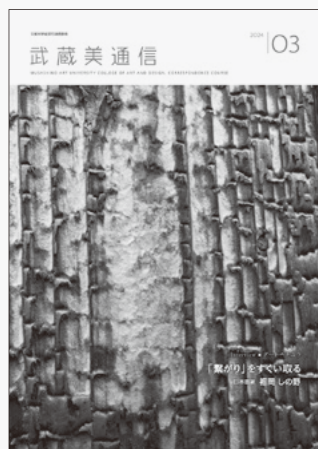
学習会は、学生の自発的な呼びかけによって設立、運営される学習と交流の場です。自主的な学習の場を設けたり、課題勉強会や見学会を催すなど活発な活動が展開されています。大学が認定した学習会には、活動費の援助や月刊誌『武蔵美通信』での活動内容の発信などの支援があります。

美術館などの割引特典

東京は世界でもまれな美術館・博物館集積都市。ムサビ通信はさまざまな館と提携して、「キャンパスメンバーズ」制度に加入しています。キャンパスメンバーズは、学生証を提示することにより美術館・博物館の常設展への無料入館や、特別展の割引が利用できる制度です。東京国立博物館や東京国立近代美術館、国立西洋美術館、さらに東京都立のさまざまな美術館・博物館などに適用されます。

美術館・図書館の利用

鷹の台キャンパスには、約4万点の美術作品やデザイン資料をコレクションする美術館、美術・デザインに関する貴重書を所蔵する図書館があります。通信教育課程の学生は、通学生と同じようにこの美術館・図書館を利用することができます。また、市ヶ谷キャンパスの図書館も利用することができます。美術館は2024年5月から2025年夏頃にかけて、空調改修工事のため、一部の展覧会開催期間を除き休館中です。図書館は通常通り開館しています。



月刊誌『武蔵美通信』

大学と学生を結ぶ補助教材となるコミュニケーション・ツールです。大学からの連絡事項だけでなく、教員のインタビュー、美術・デザイン界の話題なども掲載しています。ムサビ通信で学ぶ皆さんへ、毎月送付されます（8月を除く）。

学生生活支援

奨学金

ムサビ通信では、成績優秀な学生に対し、次の奨学金を贈与または貸与しています。詳しくは「学生募集要項」をご覧ください。

- ・武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 奨励奨学金
- ・武蔵野美術大学校友会奨学金
- ・日本学生支援機構奨学金（貸付・給付）

学割 / 通学定期券

スクーリングの受講、科目試験の受験、卒業制作講評の受講等のためにJR線を利用する際、会場までの片道乗車区間が101キロメートル以上ある場合は、学割（学校学生生徒旅客運賃割引証）を利用することができます。また、夏期スクーリングなどで長期間通学する場合は、電車・バス等の通学定期券を購入するための「通学証明書」が発行されます。

宿泊施設の紹介

大学近郊のアパート（夏期スクーリング時）、学生会館、ホテルなどを紹介します。

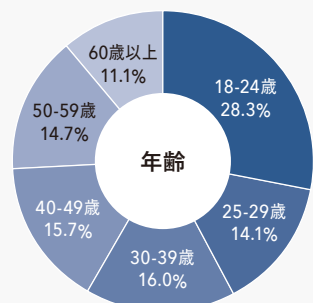
進路サポート

卒業後に就職を希望する新卒対象の学生は、登録申請を行うことで本学の就職支援サイトの利用ができます。

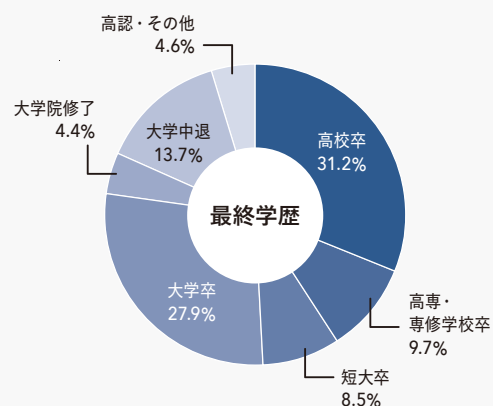
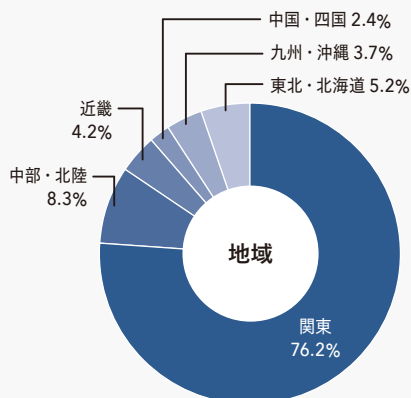
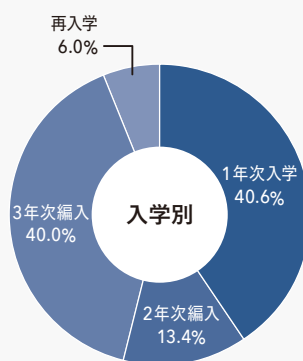
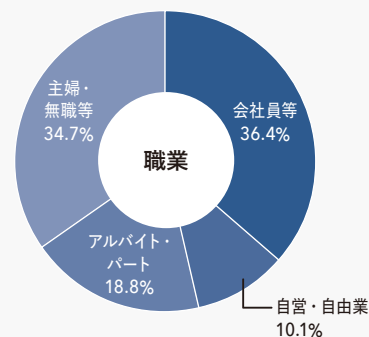


ムサビ通信・学生のデータ

2024年5月現在で2,878名の学生が学んでいます。



※最高84歳、75歳以上の方も25名



教 育 環 境

鷹の台キャンパス

鷹の台キャンパス

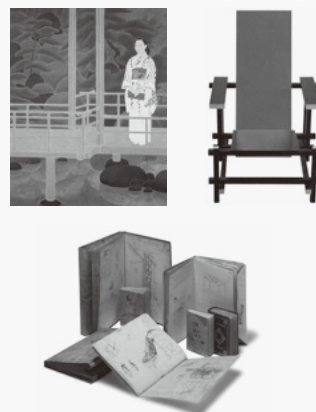
武蔵野の面影を色濃く残す小平の地にある、11万㎡以上の広大なキャンパスです。スクーリングは、ここを中心に、アトリエや工房の充実した施設を使って行われます。美術館・図書館、民俗資料室、イメージライブラリーなど、美術・デザインの総合大学ならではの充実したライブラリー環境と、創造的空間が形成されています。



鷹の台キャンパス

美術館・図書館

美術館、図書館、博物館の機能を併せ持つ、ユニークな知の複合施設。美術資料の収蔵品は、「絵画・版画・彫刻」、「グラフィックデザイン」、約400脚の近代椅子を軸とする「プロダクトデザイン」から工芸品、民芸品など多岐にわたり、重要な研究資料として高い評価を受けています。図書資料は美術・デザイン分野の専門書を中心に、30万冊以上の図書と約5,000タイトルの雑誌を所蔵しています。また、国内外の展覧会カタログや絵本など、造形全般を研究するうえで、きわめて魅力的なコレクションを形成しています。市ヶ谷キャンパスの図書館も利用することができます。



(左右)ヘリット・トーマス・リートフェルト「レッドアンドブルー（アームチェア No.635）」1918年（左上）塩出英雄「渡殿」日本画、1961年（下）レオナルド・ダ・ヴィンチによる手稿（ジュンティバルバラ社によるファクシミリ版）、原本は1500年頃

民俗資料室

人々が暮らしの中で生み出し、使い続けてきた道具（民具）約9万点を収蔵しています。一般公開している収蔵庫や、民具の造形と発想に着目した企画展、体験イベントなどを通じて、時代とともに失われつつある民具に触れることができます。



民俗資料室ギャラリー展示 30「民具のデザイン図鑑」（2022年）会場風景
撮影：鈴木静華

イメージライブラリー

国内外の映画やドキュメンタリー、アニメーションから実験映像まで、2万点を超える映像作品を所蔵し、個人ブースとグループ視聴室で視聴することができます。



三鷹ルーム・市ヶ谷キャンパス

三鷹ルーム

JR中央線「三鷹」駅北口より徒歩4分の好立地にあり、主にスクーリングに利用されます。また、大学や各学科主催による展示発表、公開講座、インフォメーションなど、ムサビと社会を結ぶ窓口として機能しています。



三鷹ルーム
(武蔵野YSビル6F)

市ヶ谷キャンパス

JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分とアクセスに恵まれた都心キャンパスで、一部科目のスクーリングに利用されます。企業との共創スペースやオープンスペースの整備など、地域・社会に広く開かれた教育研究拠点として機能しています。市ヶ谷キャンパス図書館の利用も可能です。



市ヶ谷キャンパス

学外厚生・研修施設

奈良寮

古美術研究やスケッチ旅行などのために広く開放されている厚生施設の一つ。建物は国宝・重要文化財の修復に功績を残した故新納忠之介氏の旧宅で、正倉院の近くに位置し、古美術研究旅行に最適です。



五箇山「無名舎」

富山県にある厚生施設。越中五箇山の典型的な合掌造りの民家を、研究・保養施設として改修した建物です。伝統的な民家建築と、五箇山地方に古くから伝わる民俗・民芸の数々も楽しめます。



パリ国際芸術都市アトリエ

セーヌ川沿いに位置する「国際芸術都市」に本学が使用权をもつ2つのアトリエがあり、ムサビ卒業生に応募資格がある「パリ賞」受賞者が入居することができます。



教 員 紹 介

造形学部通信教育課程 課程長



吉川民仁 よしかわみひと

教授（絵画表現コース）

1965年生まれ

武蔵野美術大学大学院造形研究科油絵コース修士課程修了

文化庁芸術家国内研修員、1990年より鎌倉画廊を中心に個展、2008年より東京日本橋高島屋美術画廊Xにて個展。グループ展ではVOCA展、安田火災財団選抜奨励展、Chiba Art Now '01 絵画の領域展（佐倉市立美術館）、「抽象と形態：何処までも顕れないもの」展（DIC川村 記念美術館）、「18 TamihitoYoshikawa展 Galerie Taménaga France（パリ）、その他アートフェアなど。

message

本来、作品の制作はとても自由なものです。ただ、自身の表現を自在に画面へ形づくることは簡単ではありません。だからこそ通信での学習を通じて自身の興味を探し、自分のやりたいことを見つけてください。その過程では行き詰まることや躓くこともあるでしょう。でも、そのことが各自の成長を促し、自己を確立してゆきます。

造形学部通信教育課程 専任教員



関口雅文 せきぐちまさふみ

教授（絵画表現コース）

1970年生まれ

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画技法材料研究室修了

1994年より横浜を中心に全国で個展、グループ展を開催。個展（仲通りギャラリー）'94 '07 '23、(Galley ARK) '05 '07 '09 '11 '13 '15 '21 '24、(星と森の詩美術館) '10、(松坂屋名古屋本店) '13 '16 '19 '23、(日本橋三越本店) '22 '24など、白日会展（安田火災美術財団奨励賞、文部科学大臣賞など）。

message

ミケランジェロは、大きな石の中に眠っている像をまるで発掘するかのように彫っていったそうです。不要な石を取り除くことで、内在していた像を取り出すのです。皆さんも自分では気付いていないだけで、既に何かが内在しているのです。僕らはそれを掘り起こすのが仕事だと思っています。何が出てくるのか、今からワクワクしています。



元田久治 もとだひさはる

教授（絵画表現コース）

1973年生まれ

九州産業大学芸術学部美術学科卒業

東京藝術大学大学院美術研究科修士課程絵画（版画）専攻修了

文化庁新進芸術家海外研修制度研修員（オーストラリア、アメリカ）。版画展（日本版画協会）、2013年よりアートフロントギャラリーにて個展、主なグループ展ではVOCA展、Domani・明日展、プリントって何？—境界を超えて—（市原湖畔美術館）、Hiroshige's City: From Edo to Tokyo（ホノルル美術館）、終わりの向こうへ：廃墟の美術史（松濤美術館）、鉄道と美術の150年（東京ステーションギャラリー）など。

message

モノを創作する上で「技法」と「表現」は切っても切れない関係があります。アナログやデジタルを問わず、表現したい事とその表現手段としてのメディアを有効活用し、まず何を表現したいのか、また、その上で必要な技法は何か、取捨選択した中で各々の作品が魅力なものになるようサポートできれば幸いです。



室井佳世 むろいかよ

教授（日本画表現コース）

1962年生まれ

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了

文化庁芸術家国内研修員（秋野不矩氏に師事）。文化庁現代選抜展。New Voice コンテンポラリージャパニーズペインティング展（USA North Dakota Museum、Bemidji State University、Moorhead State University、Winona State University）。星粒展。Glamorous展。都美セレクショングループ展「dot. 女性日本画展」。日本画制作の現場（広島市立大学）。上野の森美術館大賞展（フジテレビ賞）。創画展（創画会賞・奨励賞・春季展賞）。

message

才能アリかナシかの決め手はと問われたならば、「やらずにおられないことを持っているか否か」と答えたいです。様々な志を胸にこの学びの場を選ばれた皆様は既に「才能アリ」なのです。学びは永遠の財産です。軽やかに助走を始めましょう。我々はその跳躍を促すロイター板です。共に日本画の素材に親しみ学んでまいりましょう。

2025年4月着任予定の教員については、2025年4月1日以降に、通信教育課程Webサイト[教員紹介]でお知らせします。

造形学部通信教育課程 専任教員



上原幸子 うえはらさちこ

教授(デザイン総合コース)

1959年生まれ

武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業

広告制作会社にて、アドバイジングデザイン、キャラクターデザイン等の制作に携わる。在学中に障害者の社会参画活動に携わったことでコミュニケーションデザインの存在に気づき、多摩川に市民主催の遊び場を立ち上げ、子ども・子育て支援と環境教育、子どもの居場所づくりなどコミュニティデザインに取り組んでいる。主な仕事に、警視庁マスコットキャラクター「ピーポくん」、鳥取県マスコットキャラクター「トリピー」、環境学習のメディア制作、ワークショップの企画運営などがある。著書：『デザインとコミュニティ』（武蔵野美術出版局・2018年）。

message

デザインは、身の回りのあらゆる場面で必要なものです。困っていることを解決する方法を考えたり、ものごとを見やすくわかりやすくしたり、人を楽しくワクワクさせるアイデアなど、デザインの活躍の場はこれからも広がっていきます。ムサビで学び合いながら見る目と聞く耳を鍛え、デザインする楽しさを実践的に学んでいきましょう。



清水恒平 しみずこうへい

教授(デザイン総合コース) / 副課程長

1976年生まれ

武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業

2004年に個人事務所「オフィスナイス」設立。グラフィックデザインや編集、インタラクティブデザインなどを中心に活動。2012年から本学専任講師。2014年から同准教授。主な仕事：小学生向けプログラミングプログラム「ロボット動物園」の教材デバイスや教育プログラムの制作、「認知症未来共創ハブ」「人口減少xデザイン」「MUJI HOTEL」「無印良品の家 みんなで考える住まいのかたち」「欲しかった暮らしラボ」「誕生日寄付」「インドシナ料理 アンドシノワーズ」などのウェブデザインなど。著書：「マルチメディアを考える」（武蔵野美術大学出版局・2016年）ほか。

message

技術革新や人々の働き方、暮らし方の変化によって、社会がデザインに求めるものも、どんどん変わりつつあります。デザインの役割は決して表層的なものだけではありません。まずは、既存概念にとらわれず、そのデザインの広がりを感じてください。そして、あなた自身のデザインの領域を切り拓いてください。



荻原剛 おぎはらつよし

教授(デザイン総合コース)

1975年生まれ

武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業
ケルン工科大学デザイン科卒業

2004年にケルン工科大学デザイン科卒業。独デザインファーム勤務を経て帰国後にオムロンヘルスケア入社、2017年より同デザイン部門デザインディレクター、2021年より部門長を兼任。直近の業績として、オムロン血圧計HEM-7600T（iF賞、グッドデザイン賞、全国発明表彰、German design award）、オムロンHEM-7530T Complete（iF賞、グッドデザイン賞、German Design Award）。iF賞金賞、reddot best of the best賞、Designpreis der Bundesrepublik Deutschland等を受賞。研究テーマは専門的な領域を持たない「デザイン」の実践と、思考ツールとしてのパターンの探求。

message

デザインは取り扱う対象となる領域が拡大しつづける学問です。時代の変化に応じてその役割も柔軟に変わり続ける。でも根幹にある大切なところは案外とずっと変わらないのだと思います。ムサビでの時間を通じて自身の芯となる発見にいくつ出会うことができるのか、それを一緒に楽しめたら嬉しく思います。



福井政弘 ふくいまさひろ

教授(デザイン総合コース)

1969年生まれ

武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業

凸版印刷株式会社（現 TOPPAN）トッパンアイデアセンター勤務を経て、2010年にフクイデザイン事務所を設立。食品や菓子、飲料、雑貨等のパッケージデザインを手がける。パッケージのコンストラクションデザインからグラフィックデザインまで幅広く活動。2007年より本学非常勤講師。2024年より本学教授。主な仕事：株式会社永谷園「しじみ 70個分のちからみそ汁」、「バキット」、株式会社明治「キシリッシュガム」パッケージ構造、アキュアメイド「天然水ゼリー」など。著書「パッケージデザインを学ぶ 基礎知識から実践まで」（武蔵野美術大学出版局・2014年）。

message

デザインの醍醐味の一つに、自分の制作したものが多くの人々の手に渡り、楽しい気持ちにさせたり、生活を豊かにできることがあります。これは一度経験してしまうと何事にも変え難い魅力です。そんな世界に一步足を踏み出してみましょう！



足立圭 あだちけい

准教授(芸術研究コース)

1982年生まれ

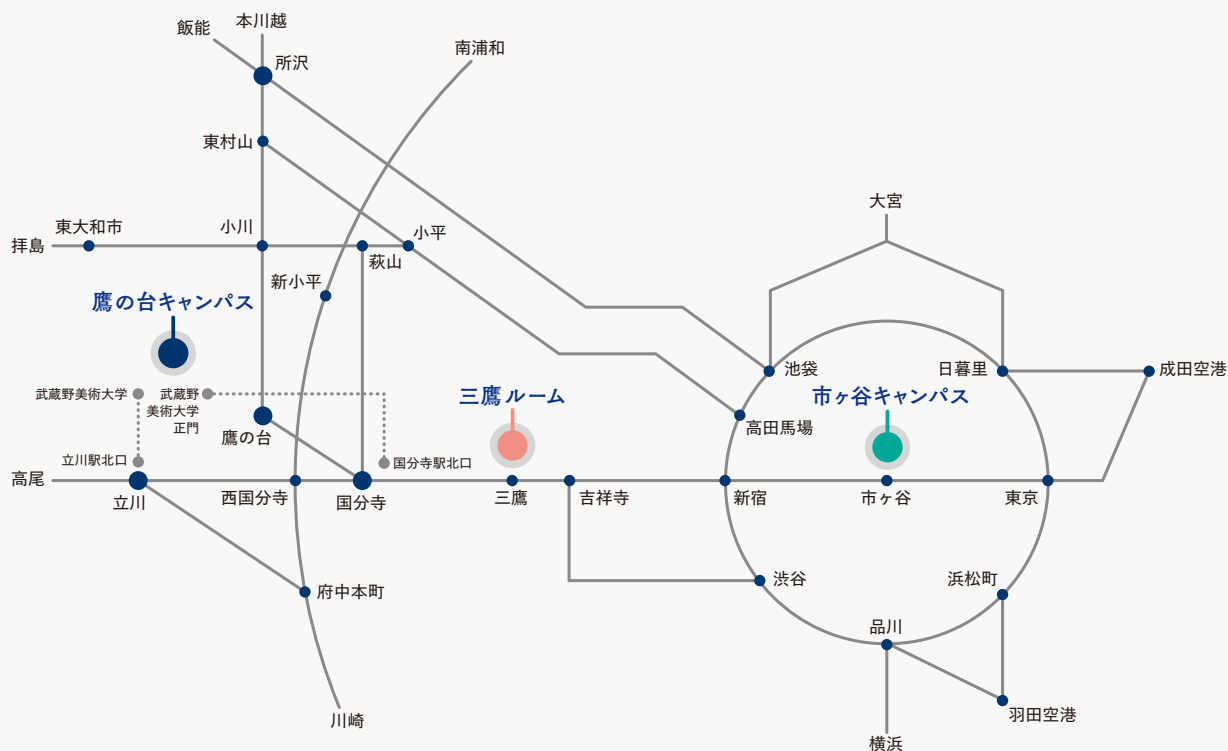
武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業

武蔵野美術大学卒業後、長野県信濃美術館 東山魁夷館（現：長野県立美術館）、女子美アートミュージアム、菊池寛実記念 智美術館で美術館学芸員として19年間勤務。女子美アートミュージアム在職中の2014年より武蔵野美術大学造形学部通信教育課程非常勤講師。2024年より現職。主な展覧会企画として「五感でアート」「五感でアート part2」「美しい木の椅子」「女子美の新星」「現代のやきもの 思考するかたち」など。

message

自身の更なる可能性にチャレンジしたいと考えるタイミングは人それぞれで、思い立った時が最大のチャンスです。大学という学びの場で、ぜひ交友関係や興味の対象を広げ、自分自身の未来図を描いていきましょう。

交通案内



鷹の台キャンパス | 〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

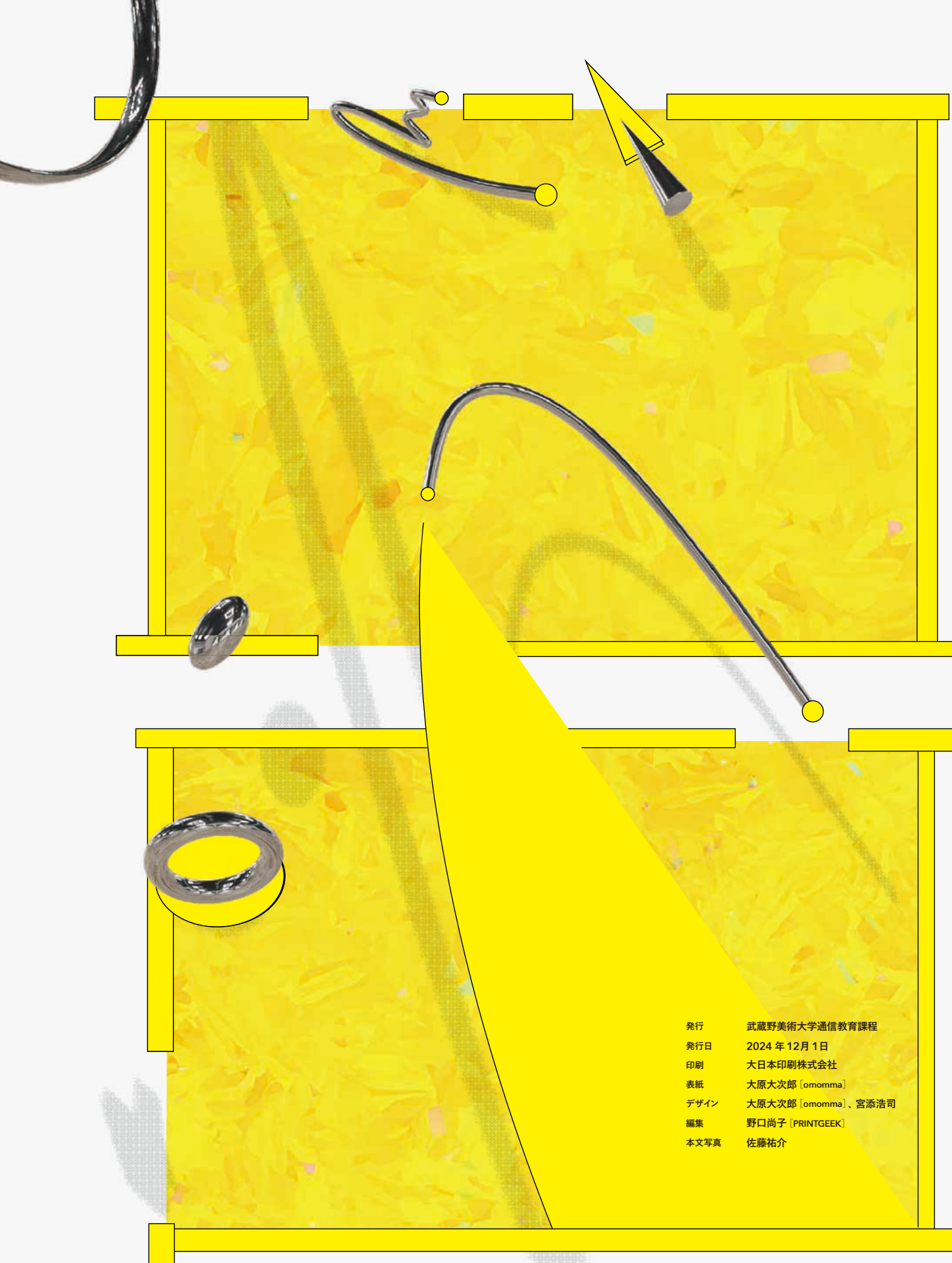
- ▶ JR中央線 [国分寺] 駅乗換、西武国分寺線 [東村山] 行で [鷹の台] 駅下車、徒歩18分
- ▶ JR中央線 [国分寺] 駅北口下車、
「国分寺駅北口」4番停留所より西武バス「武蔵野美術大学」行
または [小平営業所] 行で [武蔵野美術大学正門] または [武蔵野美術大学] 下車 (バス所要時間約25分)
(東京駅より国分寺駅まではJR中央線特別快速で約35分、快速で約43分)
- ▶ 西武新宿線 [東村山] 駅乗換、西武国分寺線 [国分寺] 行で [鷹の台] 駅下車、徒歩18分
- ▶ JR中央線 [立川] 駅北口下車、立川バス [武蔵野美術大学] 行で終点下車 (バス所要時間約25分)

三鷹ルーム | 〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-19-3武蔵野 YSビル 6F

- ▶ JR中央線 [三鷹] 駅北口より徒歩約4分

市ヶ谷キャンパス | 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-4

- ▶ JR中央・総武線 [市ヶ谷] 駅より徒歩3分
- ▶ 東京メトロ有楽町線・南北線 [市ヶ谷] 駅、都営新宿線 [市ヶ谷] 駅 4番出口より徒歩3分



発行 武蔵野美術大学通信教育課程
発行日 2024年12月1日
印刷 大日本印刷株式会社
表紙 大原大次郎 [omomma]
デザイン 大原大次郎 [omomma]、宮添浩司
編集 野口尚子 [PRINTGEEK]
本文写真 佐藤祐介

武蔵野美術大学
通信教育課程

Musashino Art University

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736
tel. 042-342-3405



E-mail: cc-nyugaku@musabi.ac.jp
<https://cc.musabi.ac.jp/>

通信